

2026年度（令和8年度）

事業計画書

社会福祉法人 手稲口一タス会

目 次

社会福祉法人 手稲ロータス会

社会福祉法人「手稲ロータス会」の理念.....	2
中期経営(後期)計画の取組内容.....	3

法人本部

法人本部事務局.....	8
--------------	---

特養手稲

職員内部研修計画.....	10
介護老人福祉施設 手稲ロータス.....	12
各種会議・委員会.....	13
年間行事予定.....	13
年間行事予算.....	14
手稲ロータス指定居宅介護支援事業所.....	15

老健手稲

職員内部研修計画.....	18
介護老人保健施設 手稲あんじゅ.....	20
各種会議・委員会.....	22
年間行事予定.....	22
年間行事予算.....	23
手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所.....	24
年間会議予定.....	26
年間行事予定・予算.....	26
手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所.....	27

在宅手稲

職員内部研修計画.....	30
認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう.....	34
年間会議予定.....	35
年間行事予定・予算.....	35
手稲ゆうゆう通所介護事業所.....	36
年間会議予定.....	37
年間行事予定・予算.....	37
手稲ゆうゆう指定居宅介護支援事業所.....	38
手稲ゆうゆう訪問介護事業所	
・手稲ゆうゆう居宅介護事業所.....	39
札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置.....	40
年間会議予定.....	41
介護予防普及啓発事業予定・予算.....	41

特養音更

職員内部研修計画	44
介護老人福祉施設 ロータス音更	46
各種会議・委員会	47
年間行事予定	47
年間行事予算	48
ロータス音更(介護予防)通所介護事業所(一般型・認知症型)	49
年間会議予定(一般型)	50
年間行事予定・予算(一般型)	50
年間会議予定(認知症型)	51
年間行事予定・予算(認知症型)	51
音更町地域包括支援センター ロータス音更	52
あんじゅ音更指定居宅介護支援事業所	53

老健音更

職員内部研修計画	56
老人保健施設 あんじゅ音更	58
各種会議・委員会	59
年間行事予定	59
年間行事予算	60
あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所	61
年間会議予定	62
年間行事予定・予算	62
あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所	63

社会福祉法人 手稲口一タス会

社会福祉法人「手稲ロータス会」の理念

「手稲ロータス会」は4つの笑顔を大切にします

利用者様の笑顔、ご家族の笑顔、地域の皆様の笑顔、そして私たち職員の笑顔です

清浄な花を咲かせる「ロータス(蓮)」の名にふさわしい、明るい笑顔とこまやかな
思いやりに満ちた介護事業を目指します

基本方針

- ① 利用者様の笑顔のために
 - ・ 一人ひとりの尊厳を大切にし、地域の中で自立した生活を目指します
 - ・ 安全で安心できる良好な生活・療養環境の実現を目指します
- ② ご家族の笑顔のために
 - ・ ご家族と利用者様のコミュニケーションが保たれ、交流が深まるように努めます
 - ・ ご家族の介護負担の軽減が図られるように支援します
- ③ 地域の皆様の笑顔のために
 - ・ 介護予防の知識や介護への意識の普及啓発に努めます
 - ・ 地域の皆様との交流、ボランティアの受入、施設開放等に努め地域と共に歩みます
 - ・ 地域の関係機関、事業所と連携協働し、地域と一体となったケアを担います
 - ・ 環境にやさしい施設運営を目指します
- ④ 職員の笑顔のために
 - ・ 意欲を持って、安心して働ける職場環境を目指します
 - ・ 職員それぞれの職務の専門性向上のために支援します

*各事業所の事業計画には、対応する中期経営計画の取組内容の番号を記載しています。



中期経営(後期)計画(2025～2027年度)の取組内容

中期経営計画の後期においては、次に掲げる 7 つの柱を基本的な取組内容として、具体的に進めてまいります。※()内は後期計画の重点項目



(1) 利用者様の笑顔をつくる環境づくり

- ・ 利用者様が「安全・安心」に生活できるよう環境を整えます。
(老朽化に伴う施設の修繕、備品の整備等)
- ・ 利用者様が持っている能力を十分に発揮して頂くとともに、持ち続けられるよう専門職が共同で支援します。
(職員のスキル向上を目的とした勉強会、チームワークの強化等)
- ・ 利用者様の自己の選択や決定を尊重し、個人の尊厳を守れる支援を行います。
(接遇研修を充実し、職員ひとり一人の意識に働きかける教育の実践)
- ・ 利用者様の自立を維持できるよう支援を行います。
(個人に合わせた支援、尊厳を守れる支援の実施)



(2) ご家族に安心・満足していただける環境づくり

- ・ 利用者様の日常生活の様子(通所利用時の様子)や体調等の情報をお伝えし、共有することでより良いサービスにつなげ、また、ご家族に安心していただけます。
(全事業所でのSNSを活用)
- ・ 利用者様とご家族の生活時間を有意義なものとなるよう支援します。
(面会や外出行事の拡充)
- ・ ご家族のご意向(ニーズ)を把握し、ケアプラン等に反映、ケアマネジメントのプロセス(PDCA サイクル)を意識した支援を行います。
(ご家族の想いに寄り添うケアの提案と共有)



(3) 地域の皆様から信頼される環境づくり

- ・ 施設の地域交流スペースや会議室等を地域活動等に利用していただき施設を開放し、地域の皆様との交流機会を積極的に行います。
(地域の皆様への施設開放の実施と、町内会等との交流を活性化)
- ・ 地域の皆様を対象に、専門的知識を持つ専門職による介護予防、健康づくり等の知識や意識の普及啓発を行うなど、公益的な取組みを進めます。
(介護予防を促進する活動の実施、体験学生の受入、公開講話の実施)
- ・ 地域ボランティアの受入れを促進します。
(感染予防対策の範囲を見極めながら積極的な受入)



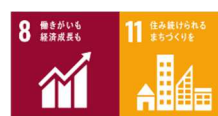
(4) 職員が働き続けられる職場づくり(職員確保と育成)

- ・ 職員のスキルアップ(専門性向上)やキャリアパスの検討など職員研修の充実を図ります。
(外部研修への積極的な参加、法人合同研修の実施など、新たな研修計画の策定)
- ・ ICT化やロボットの導入等を進めることで、業務の効率化を図ります。また、職員の健康管理(腰痛防止やストレス抑制)を促進します。
(職員の健康管理のための福利厚生、介護ロボットの導入による環境整備、労務管理のデジタル化による業務の効率化)
- ・ 仲間や上司から必要とされていると感じられ働き甲斐がある職場づくりを目指し、職員相互のコミュニケーションづくり(良好な人間関係を構築し、チーム力を向上)を促進します。
(職員間のコミュニケーションアップに向けた取組み)
- ・ 職員の意見や発想を大切に、有意義なものは具現化していきます。
(職員提案制度の改正、充実に向けた取組み)
- ・ 職員の適正な人事評価と定年制度の延長及び役職の定年制導入の検討を行います。
(人事評価制度の再調整、定年延長に関する検討)
- ・ 待遇・マナーの向上とハラスメント防止を徹底します。
(全職員が同等の研修を受講できるための研修計画の作成)
- ・ 幹部職員及び幹部候補職員の計画的な教育・育成に努めます。
- ・ 外国人労働者を受け入れ、育成指導する体制を維持します。
(2024年12月より採用の特定技能外国人の介護福祉士取得を目指した育成)



(5) 法人の財政基盤の健全化に向けて

- ・ 主体性のある事業運営を推進するため、現状把握に努め自施設の強みと弱みを知り、これから来る未来について情報を収集(常に勉強)し、課題を分析して具体的な対策を講じます。その結果、目標稼働率を達成させ、収入の増加を目指します。
(継続的な実施)
- ・ 経費については、収益を生むための経費と収益を生まないランニングコストとしての経費に分けて考えます。収益を生むための経費については積極的に使いながら、収益を生まない経費であるランニングコストは抑制に努めます。
(消耗品等の一括購入による経費削減、LED化、施設設備の定期点検による修繕費の削減と環境負荷の軽減)



(6) 組織体制・運営の在り方検討に向けて

- ・ 組織体制について、本部事務局と事業所の業務分担の見直しも含めた検討を行います。
(本部事務局の業務整理と明確化への取組み)
- ・ 各施設の運営に関して、権限と責任の明確化や責任ある事業運営に当たれる体制づくりの

ほか、年功序列を意識せず能力に応じた適材適所の異動・登用を進めます。

(基準の明確化と統一した登用の実施)

・ 法人・事業所の基本情報を発信するホームページの積極的な運用、及び日常の情報発信するための SNS 等各種ソーシャルメディアの活用方法について取り組みを進めます。

(全事業所が同等の実施を行えるための取組の推進)

・ 策定した感染症・自然災害 BCP(業務継続計画)を職員へ周知徹底するとともに、地域との連携・協働を進めます。

(定期的な BCP 内容の見直しと地域との連携に関する今後の取組み)



(7) 新規事業

・ 札幌旧特養施設建物取り壊し

(2027 年度までの資金収支見通し等に基づく実施時期の判断)

・ 音更在宅部門施設建設

地域包括支援センターの移転を含めた事業部門体制などの検討を進め、2027 年度までの資金収支の見通し及び地域ニーズ等事業環境に基づき建設時期を判断します。

(法人の収支状況の改善の不可欠性と検討の継続)

・ ICT の活用

新規システムの導入や既存システムの更新・改修の際には、既存の各事業所の多様なシステムとの統合、連動・整合性の確保を第一に企画実施することとし、事業所ごとではなく法人全体で方向性を定めて取り組みを進めます。(つながる家族導入によるペーパーレス化)

・ 施設の老朽化に対応した建築保全計画の策定

老朽化が進む各施設について、将来に向けた長寿命化や保全のあり方を検討しながら計画的に施設環境を整備していきます。

SDGsとは

SDGs(エスディーゼーズ)は

「Sustainable Development

Goals」の略称で、日本語に直訳する

と「持続可能な開発目標」という意味

を表します。SDGsには2030年ま

で達成すべき17の目標が掲げら

れており、これらは2015年に開催さ

れた国連サミットにおいて採択されま

した。



法 人 本 部 事 務 局

法人本部事務局

法人運営をより安定的なものにするため、拠点間の連携及び協力体制の強化に努める。

《重点推進課題》

1. 雇用の安定化と人材育成のための職員研修の基本計画の運用

《中期経営計画（4）》

介護従事者の雇用状況が厳しさを増す中、新卒者や外国人労働者の受け入れを積極的に行い、安定した法人施設の運営を維持していく。

職員研修の基本計画は最終段階に来ており、各事業所の担当職員による調整会議を開催して共同開催できるテーマや日時の設定などに取り組むことで、法人全体のサービスの質の向上を目指す。

【指標・評価方法】

昨年度から介護系の学科を持つ高等学校を訪問しており、今年度も担当教諭とのコミュニケーションを維持し、卒業生の就職意向を情報収集する。

また、外国人労働者の安定した継続雇用及び新規外国人雇用に伴う生活環境の整備など、登録支援機関と協力しながら、安定した労働環境の維持に努め、新たな事業所における雇用を検討する。

法人全体の研修企画会議を開催し、研修項目、内容の調整、評価・意見等を考慮し適宜研修計画の見直しを行う。

2. 組織体制の在り方検討と建築保全計画の策定着手

《中期経営計画（5）（6）（7）》

中期経営計画（後期）の中間点に際し、法人本部と事業所の共通する事務の役割分担を明確にし、安定した事業所運営を維持するための適切な人材育成・配置に努めて、法人全体の安定化をさらに進める。

また、老朽化する施設の長期的な維持に向けて新たな建築保全（大規模施設改修）計画を策定し、今後の運営基盤の安定化を目指す。

【指標・評価方法】

本部事務局と事業所の業務内容の整理を継続すると共に、適材適所の人事異動を行う。

将来に向けた施設の長寿命化や保全の計画を含め、次期中期計画への掲載検討を進め、緊急を要するものは前倒しの着手も検討する。

特 養 手 稻

職員内部研修計画

(手稲ロータス)

実施月	研修内容	講師等
4月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修①（食中毒を含む）	感染症予防委員会
5月	事故発生又は再発防止に関する研修	事故防止・苦情検討委員会
6月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修①（精神的ケアを含む）	身体的拘束廃止・虐待防止委員会
7月	法令遵守（プライバシーの保護など）の取組みに関する研修	施設内外の講師
8月	認知症ケアに関する研修	施設内外の講師
9月	地震などの自然災害の防災に関する研修及び避難訓練①	施設内外の講師
10月	看取り介護に関する研修	看取り介護検討委員会
	ハラスメント対策についての研修	施設内外の講師
11月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修②	感染症予防委員会
12月	緊急時の対応に関する研修（AEDの取扱い、人工呼吸法等）	施設内外の講師
1月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修②	身体的拘束廃止・虐待防止委員会
2月	地震などの自然災害の防災に関する研修及び避難訓練②	施設内外の講師
3月	医療（褥瘡予防を含む）に関する研修	施設内外の講師
その他	新人職員研修	施設内外の講師
	個別ケア、ユニットケアに関する研修	施設内外の講師
	移乗動作、食事や排せつなどの介護技術に関する研修	施設内外の講師
	接遇に関する研修	施設内外の講師

(手稲ロータス居宅)

実施月	研修内容	講師等
4月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修①（食中毒を含む）	併設する介護老人福祉施設と共同開催
5月	事故発生又は再発防止に関する研修	併設する介護老人福祉施設と共同開催
6月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修①（精神的ケアを含む）	併設する介護老人福祉施設と共同開催
7月	法令遵守（プライバシーの保護など）の取組みに関する研修	施設内外の講師
8月	認知症ケアに関する研修	施設内外の講師
9月	地震などの自然災害の防災に関する研修及び避難訓練①	施設内外の講師
10月	ハラスメント対策についての研修	併設する介護老人福祉施設と共同開催
11月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修②	併設する介護老人福祉施設と共同開催
12月	ヤングケアラー、障害者、生活困窮者、難病患者等に関する研修	施設内外の講師
1月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修②	併設する介護老人福祉施設と共同開催
2月	地震などの自然災害の防災に関する研修及び避難訓練②	施設内外の講師
3月	認知症ケアに関する研修	併設する介護老人福祉施設と共同開催
その他	新採用職員研修	施設長・部門長ほか各専門職
	接遇に関する研修	施設内外の講師

介 護 老 人 福 祉 施 設 手 稻 口 一 夕 ス

手 稻 口 一 夕 ス 指 定 居 宅 介 護 支 援 事 業 所

介護老人福祉施設 手稲ロータス

入居様が穏やかに、その人らしく暮らし続けられる環境づくりを大切にします。そのために、まず職員が安心して働き、成長できる環境を整え、日々の丁寧な関わりを積み重ねることで、笑顔につながると考えます。

専門職が互いを尊重し、入居様の「できること」に目を向けた支援を行います。また、ICT や福祉機器の活用、業務の見直しを進め、職員の負担軽減にも取り組みます。人が育ち、その力が入居者の皆様へ還元される運営を目指します。

《重点推進課題》

1. 業務効率化と人材育成を進め、入居者の笑顔につなげる

《中期経営計画 (1)(4)(7)》

ICT 化や福祉機器の活用及び業務の重なりを整理することで、ケアに向き合う時間を確保する。研修は「知識を増やす場」ではなく、「明日から使える学びの場」として再構築することで、「判断できる力」を養う。職員同士が互いを尊重し、助け合える職場環境を目指す。

【指標・評価方法】

- ① 業務手順の簡素化に向けた見直しを行い、年度内に1項目以上の改善を実行する。
- ② 既存の ICT 機器・介護機器の活用状況を確認し、効果的な使い方を検討する。
- ③ 腰痛予防やストレス対策に関する研修を実施し、職員の長期就労につなげる。
- ④ 重複している業務や、職員の負担軽減につながる業務の流れを整理する。

2. 入居者の尊厳を守る支援を心がけ、ご家族との信頼関係を深める

《中期経営計画 (1)(2)(6)》

安全・安心の確保を前提としながら、「その人らしさ」を大切にしたい支援を心がける。多職種との情報共有を強化し、利用者様の強みや希望をケアに反映させる。ご家族には、良いことも課題も率直に伝え、双方向の関係を築く。また、行事や面会の機会を通して、生活の様子を実感していただく機会を増やす。

【指標・評価方法】

- ① 感染症対策・事故防止の研修とマニュアル見直しを実施し、面会制限のさらなる緩和を図る。
- ② ケアプラン作成・見直しの際、ご家族の意向確認を行い、記録を徹底する。
- ③ SNS(毎月)及び広報誌(3か月に1回)で日常の様子を発信する。
- ④ ご家族向けアンケートを実施し、信頼度や満足度の向上を図る。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	運営会議	毎月第4水曜日 16:15～
	主任会議	毎月第1水曜日 16:30～
	職員会議	4月・7月・10月・1月第4水曜日16:15～
	フロア会議	月1回
	入居検討委員会	4月・7月・10月・1月第4水曜日16:45～
	サービス担当者会議	随時
委員会	事故防止・苦情検討委員会	毎月第2木曜日 16:15～
	感染症予防委員会	5月・8月・11月・12月・1月・2月・3月第2月曜日 16:15～
	身体的拘束廃止・虐待防止委員会	毎月第3火曜日 16:15～
	褥瘡予防対策委員会	毎月第3水曜日 16:15～
	看取り介護検討委員会	毎月第2水曜日 16:15～
	広報・研修委員会	毎月第1火曜日 16:15～
	口腔衛生向上委員会	5月、8月、11月、2月 第1水曜日 16:15～
	生産性向上委員会	毎月第1水曜日 16:30～
	衛生委員会	毎月第4水曜日 16:15～
	給食委員会	定期的に開催

年間行事予定

月	日	行 事	内 容
6月	5(金)	開設記念行事	ユニット又はフロア毎に企画を立て、お祝いする。
7月	31(金)	手稲ロータス夏まつり	入居皆者・ご家族・地域に向けた、出店やイベントを催す。
9月	11(金)	敬老祝賀会	地域交流スペースに、ご家族を招き、長寿をお祝いする。
12月	25(金)	クリスマス会・忘年会	ユニット又はフロア毎に企画を立て、親睦を図り1年を振り返る。
2月	3(水)	節分行事	入居者皆様による豆まきをし、1年の厄を払い健康に過ごしていただく。
その他		個別活動	入居者皆様のニーズに合わせ、外食行事などを楽しむ。
		地域活動	地域交流スペースにて運動教室などの身体活動、パソコン教室などの文化活動を随時、実施する。
【備考】 行事予定のない月に関しては、ご家族参加の行事や季節を感じるレクリエーション活動等を企画予定。			

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
6月	開設記念行事	5日 (金)	ユニット又はフロア毎に企画を立て、お祝いする。	入居者食事代 440 × 80 人 ケーキ代など 220 × 80 人 飲食物 3,300 × 8 ユニット 装飾品代 70,000 × 1 運営費 2,750 × 8 ユニット	35,200 17,600 26,400	70,000 22,000	171,200
7月	手稲ロータス夏まつり	31日 (金)	入居者・家族・地域に向けた、出店やイベントを催す。	模擬店材料代 1,300 × 200 人 装飾品代 2,750 × 8 ユニット 運営費 440 × 200 人	260,000	22,000 88,000	370,000
9月	敬老祝賀会	11日 (金)	地域交流スペースに、賀寿者のご家族を招き、長寿をお祝いする。	入居者食事代 440 × 80 人 ケーキ代など 220 × 80 人 被表彰者記念品代(100歳以上) 3,300 × 3 人 被表彰者記念品代(喜寿) 3,300 × 1 人 被表彰者記念品代(傘寿) 3,300 × 2 人 被表彰者記念品代(米寿) 3,300 × 0 人 被表彰者記念品代(卒寿) 3,300 × 5 人 被表彰者記念品代(白寿) 3,300 × 2 人 表彰状の用紙代 2,000 × 1 袋 表彰状の額縁 330 × 9 人 家族飲食物 5,500 × 1 人 装飾品代(地域交流スペース) 5,500 × 1 運営費 2,750 × 8 ユニット	35,200 17,600 9,900 3,300 6,600 0 16,500 6,600 2,000 2,970 5,500 5,500	22,000	133,670
12月	クリスマス・忘年会	25日 (木)	ユニット又はフロア毎に企画を立て、親睦を図り1年を振り返る。	入居者食事代 440 × 80 人 ケーキ代など 220 × 80 人 飲食物 2,750 × 8 ユニット プレゼント代 1,100 × 80 人 運営費 2,750 × 8 ユニット	35,200 17,600 22,000	88,000 22,000	184,800
2月	節分行事	1日 (日)	入居者による豆まきをし、1年の厄を払い健康に過ごしていただく。	入居者食事代 220 × 80 人 運営費 2,750 × 8 ユニット	17,600	22,000	39,600
通年	その他の行事	随時	各ユニットにて入居者のご家族を招き、レクリエーション、行事を企画し、随時、実施する。	飲み物代 2,750 × 8 ユニット 運営費 2,750 × 8 ユニット	44,000		(2回開催分) 88,000
	個別活動	随時	入居者のニーズに合わせ、外食行事などを楽しむ。	運営費 1,000 × 70 人		70,000	70,000
	長寿(100歳)誕生祝	随時	100歳の大切な節目を本人の誕生日に合わせて祝う。	ケーキ代など 3,000 × 5 人	15,000		15,000
	正月の装飾	随時	正月の雰囲気を感じていただくため、ユニット内を装飾する。	装飾品代 1,650 × 8 ユニット		13,200	13,200
	桃の節句の装飾	随時	桃の節句の雰囲気を感じていただくため、ユニット内を装飾する。	装飾品代 1,650 × 8 ユニット		13,200	13,200
	端午の節句の装飾	随時	端午の節句の雰囲気を感じていただくため、ユニット内を装飾する。	装飾品代 1,650 × 8 ユニット		13,200	13,200
	母の日の装飾	随時	母の日の雰囲気を感じていただくため、ユニット内を装飾する。	装飾品代 1,650 × 8 ユニット		13,200	13,200
	父の日の装飾	随時	父の日の雰囲気を感じていただくため、ユニット内を装飾する。	装飾品代 1,650 × 8 ユニット		13,200	13,200
	レクリエーション活動	随時	各ユニットにてレクリエーションを企画し、随時、実施する。	年間活動費 26,400 × 8 ユニット (1ユニット月に2,200円)		211,200	211,200
	委員会活動費	随時	各委員会にて書籍やWEB等により、必要な情報を収集し、取組む。	書籍代 6,000 × 6 委員会 (各委員会年に6,000円)		36,000	36,000
施設内研修活動	随時	広報・研修委員にて外部講師による研修を企画し、実施する。	運営費 20,000 × 5 回		100,000	100,000	
合 計					548,900	936,570	1,485,470

手稲ロータス指定居宅介護支援事業所

利用者様の尊厳を守り、ケアラー(家族)支援の視点も併せ持ち、利用者様それぞれが持つ背景を踏まえ、継続的に在宅で生活を送ることができるよう、ケアマネジャー一人ひとりの資質向上を図るとともに、事業所の安定した運営を目指します。

《重点推進課題》

1. ケアマネジャーの資質向上

《中期経営計画(1)(2)(4)》

利用者様の自立を支援し、また、ケアラー(家族)支援の視点も持てるよう、それぞれの経験や培ってきた強みを活かしつつ、多角的なアセスメントを実施できるよう努め、支援の質の平準化を目指します。

【指標・評価方法】

- ① 「適切なケアマネジメントの手法」を活用したアセスメントを行う。
- ② 実践事例を振り返る時間を定期的に出し、意見交換を通じて、自分自身の課題や不足している視点を認識・分析する。
- ③ 他事業所との情報交換をこれまで以上に行い、多くのことを吸収する。
- ④ 内外部の研修に積極的に参加し、研修で学んだことを事業所内で共有する。

2. 安定した事業所運営

《中期経営計画(3)(4)(6)(7)》

担当件数の増減を抑え、件数を維持するために必要な取組や工夫を実施していきます。

【指標・評価方法】

- ① 「ケアプランデータ連携システム」の導入・運用や情報通信機器活用の取り組み、同法人の居宅や他居宅介護支援事業所と情報交換を実施、業務改善を進めることで、ケアマネジャーの時間のゆとりを生み出し、能動的な動きをとれる環境作りを行う。
- ② 日頃から各担当利用者様の情報交換を行い、先を見据えながら新規利用者様の担当を決定する。
- ③ 介護の相談窓口となれるよう、各関係機関との関係づくりを継続するとともに、「認知症語ろう会」を通して地域との接点を持つていく。

老 健 手 稻

職員内部研修計画

(手稲あんじゅ 入所・短期・通所)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修①	感染症予防委員会
5月	事故発生又は再発防止に関する研修①	事故防止・苦情検討委員会
6月	食中毒の予防に関する研修	感染症予防委員会
7月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修①	身体的拘束廃止・虐待防止委員会
8月	口腔衛生管理等に関する研修①	歯科医師または歯科衛生士
9月	感染症の予防及び蔓延防止に関する研修②	感染症予防委員会
10月	褥瘡予防に関する研修	褥瘡予防対策委員会
11月	事故発生又は再発防止に関する研修②	事故防止・苦情検討委員会
12月	地震、土砂災害などの自然災害の防災に関する研修	施設内外の講師
1月	身体的拘束廃止及び高齢者虐待防止に関する研修②	身体的拘束廃止・虐待防止委員会
2月	口腔衛生管理等に関する研修②	歯科医師または歯科衛生士
3月	認知症ケアに関する研修	身体的拘束廃止・虐待防止委員会
その他	新規採用職員研修	施設長、事務長ほか各専門職
	接遇に関する研修	施設内外の講師
	法令遵守（プライバシーの保護など）の取組みに関する研修	施設内外の講師
	緊急時の対応に関する研修（AEDの取扱い、人工呼吸法等）	施設内外の講師
	ハラスメント対策に関する研修	施設内外の講師
	感染対策向上に関する研修（実地研修）	第二種協定指定医療機関
	避難訓練（火災：年2回～日中想定、夜間想定）	札幌市防災協会等
避難訓練（地震・土砂災害：年1回）	札幌市防災協会等	

介護老人保健施設 手稲あんじゅ
手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所
手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

介護老人保健施設 手稲あんじゅ

専門職が持つ知識や技術を十分に発揮できるケアサービス提供体制の構築を進めるとともに、入所(利用)者様及びご家族の意思を尊重したケア方針に基づく支援を行う。さらに、インフォーマルサービスの活用により、より豊かな生活の実現を支援する。

また、生産性向上に向けた取組を加速させ、現代の介護環境に即した体制整備を図るとともに、次世代を担うリーダー及び職員の育成に努める。

《重点推進課題》

1. 意思決定支援を軸とした充実したケアの推進

《中期経営計画(1)(2)(3)》

入所(利用)者様及びご家族の意思を丁寧に把握するとともに、多職種間の意見交換を活発化させ、望まれる生活やケアの実現に向けた適切なケア方針を決定する。また、円滑な退所支援と適切な選択に向けてご家族との情報共有を強化するとともに、余暇活動の充実を通じて活動性を促進し、その人らしい可能性を広げる。

【指標・評価方法】

入所(利用)者様が大切にしている価値観や、どのような医療・ケアを望んでいるかについて、入所(利用)者様及びご家族との話し合いを通じて、「人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)」を意識したアセスメントを行う。あわせて、「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」に基づき、入所(利用)者様及びご家族の意思は変化し得ることを前提に、ケア方針の内容について定期的に意思確認を行い、柔軟かつニーズに応じたケアプランの作成に努める。

さらに、ケア方針の決定に当たっては、入所(利用)中の生活状況や介護の様子について、ご家族と共有することが重要であることから、対面に加えて動画や静止画による配信サービスを拡充し、情報共有体制の強化を図る。

また、在宅復帰や介護保険施設等への生活環境の変更など「人生の選択場面」においては、入所(利用)者様及びご家族の想いに寄り添うとともに、不安を軽減しながら十分に話し合い、退所後の新たな環境への円滑な移行を支援する。

そのほか、近隣の高校と連携するなどボランティアの受け入れを促進し、入所(利用)者様の余暇活動の充実を図ることで、豊かな生活の実現に向けたケアサービス環境の整備を進める。

2. 生産性向上に向けた取組と人材育成による持続可能な組織体制の構築

《中期経営計画(4)(6)(7)》

特定の職種が担っていた業務の一部を他職種へ移管するタスク・シフトを推進することにより、施設全体の生産性向上の取組を加速させる。あわせて、専門職が本来の役割を十分に発揮できる体制を整え、多職種で構成するチーム力の向上を図るとともに、相互に認め合い支え合う姿勢の定着を目指す。さらに、将来を担うリーダーの育成を着実に推進し、次世代が活躍できる組織づくりを進めるとともに、特定技能職員の着実な成長を支援する。

【指標・評価方法】

これまで当施設では、AI(人工知能)によるシフト作成や議事録作成、ケアプラン作成支援など、さまざまな可能性を検証しながら、生産性向上委員会を中心に業務改善を推進してきた。これらの取組を踏まえ、さらなる生産性向上を図るため、各現場における新たな課題の抽出を積極的に行う。

あわせて、既存のデジタルオンラインツールの活用範囲を拡大するとともに、「イラストデザインツール」や「ビジネスチャットツール」の使用を標準化することで、広報活動の強化と円滑な情報共有を推進する。また、見守り支援システムやインカムなどICT導入の検討を進め、導入を見据えた業務シミュレーションを実施し、業務体制の再編を図る。

さらに、将来のリーダー育成に向けた職員教育を推進し、依存体質から脱却した能動的な組織づくりを目指す。そのために、伴走支援を行いながら各役職者への分権を進め、職員の創造性を引き出し、自立を促すことに加え、サービス提供に関する接遇はもとより、職員同士においても相互に認め合い、支え合う姿勢を組織文化として定着させる。

そのほか、特定技能職員の育成においては、研修プログラムを基盤とし、介護技術や知識の習得に加え、業務理解を段階的に積み上げる視点で個別指導を実施する。あわせて、将来的な介護福祉士資格取得に向けて介護福祉士実務者研修の受講を通じた着実な成長を支援する。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会議	職員会議	必要に応じて随時開催
	主任会議	毎月第1木曜日 16時45分から
	グループ会議	各グループ月1回 16時30分から
	入所(退所)判定会議	随時
	サービス担当者会議	随時
委員会	事故防止・苦情検討委員会	毎月第4木曜日 16時30分から
	感染症予防委員会	毎月第2木曜日 16時30分から
	身体的拘束廃止・虐待防止委員会	毎月第3木曜日 16時30分から
	褥瘡予防対策委員会	毎月第2水曜日 16時30分から
	広報・研修委員会	毎月第3水曜日 16時30分から
	口腔衛生向上委員会	6か月に1回(8月・2月) 16時30分から
	衛生委員会	毎月第1木曜日 16時45分から
	生産性向上委員会	3か月に1回(4月・7月・10月・1月)第1木曜日 16時45分から

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
5月	13日	お茶会	新茶を和菓子と一緒に楽しむことで季節を感じて頂く
6月	1日	開設記念式典	入所(利用)者様への感謝の気持ちを込めて食事を振る舞う
	17日・23日	テラスde日光浴	テラスに出て日光浴を行うとともに、小さい鉢植えを作って楽しむ
7月	15日	テラスdeカフェ(2階)	テラスでジュース、コーヒー等を楽しんで頂く
	21日	テラスdeおやつ(3階)	
	未定	土用の丑の日	うなぎを楽しんでいただき、健康を祈願する
8月	19日	夏祭り	屋台、出店等の夏祭りの雰囲気を感じられる催しを楽しんで頂く
9月	21日	敬老祝賀会	お祝いの食事やおやつを楽しんで頂き長寿を祝う
10月	1～2週目	スイーツドライブ	ドライブで景観を楽しみながら好きなスイーツを味わって頂く
11月	11日・20日	おやつレク	季節のおやつを楽しんで頂く
12月	23日	忘年会	皆さんで食事を囲み、一年を振り返る宴会をする
	31日	年末のお膳	年末らしい食事を楽しんで頂く
1月	1～3日	年始のお祝い	正月料理を楽しんで頂く
	6日	新年会	1年の始まりを「祝い御膳」でお祝いする
2月	3日	節分の豆まき	豆まきなど節分の風習を行う
3月	16日	おやつレク	季節のおやつを楽しんで頂く

【備考】

- ※ 「誕生会」毎月、第3日曜日に実施。昼食前に該当月の誕生者を紹介する。誕生者の方には、午後のおやつの時間にお菓子を誕生者に召し上がって頂く。また、写真を撮影し、入所者様ご本人に手渡す。
- ※ 「喫茶」(各階)毎週日曜日14時00分
- ※ 「変わり湯の日」毎月1週間、入浴剤により普段と違う入浴環境で季節を感じて頂く。
- ※ 「避難訓練」年2回
- ※ 「個別外出」「地域交流事業」は感染症予防対策の状況に合わせて実施を検討していく。
- ※ 年末年始(12月31日～1月3日)は通常の食費に加算し、正月料理を楽しんで頂く。
- ※ 年間行事予定については、感染症予防対策のため必要に応じて変更しながら実施していく。

年間行事予算

(単位:円)

会議	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
5月	お茶会	13日	新茶を和菓子と一緒に楽しむことで季節を感じて頂く	運営費 5,500 × 2フロア 食材費等 440 × 90人	39,600	11,000	50,600
6月	開設記念式典	1日	入所(利用)者様への感謝の気持ちを込めて食事を振る舞う	入所者食事代(昼食) 440 × 90人	39,600		
	テラスde日光浴	17日 23日	テラスに出て日光浴を行うとともに、小さい鉢植えを作って楽しむ	運営費 8,800 × 2回		17,600	57,200
7月	テラスdeカフェ(2階) テラスdeおやつ(3階) 土用の丑の日	15日 21日	テラスでジュース、コーヒー等を楽しんで頂く うなぎを楽しんで頂き、健康を祈願する	食材費等 440 × 90人 運営費 5,500 × 2フロア 入所者食事代(昼食) 330 × 90人	39,600 29,700	11,000	80,300
8月	夏祭り	19日	屋台、出店等の夏祭りの雰囲気を感じられる催しを楽しんで頂く	運営費 33,000 × 2フロア 食材費等 440 × 90人	39,600	66,000	105,600
9月	敬老祝賀会	21日	お祝いの食事やおやつを楽しんで頂き長寿を祝う	入所者食事代(昼食) 440 × 90人 おやつ代 660 × 90人 飲物代他 5,500 × 1回 記念品代(男女最高齢) 11,000 × 2人 運営費 16,500 × 1回	39,600 59,400 5,500	22,000 16,500	143,000
10月	スイーツドライブ	1~2週目	ドライブで景観を楽しみながら好きなスイーツを味わって頂く	食材費等 550 × 90人	49,500		49,500
11月	おやつレク	11日 20日	季節のおやつを楽しんで頂く	食材費等 440 × 90人 運営費 5,500 × 2フロア	39,600	11,000	50,600
12月	忘年会	23日	皆様で食事を囲み、一年を振り返る宴をする	入所者食事代 440 × 90人 飲物代他 11,000 × 1回 運営費 8,800 × 1回	39,600 11,000	8,800	
	年末のお膳	31日	年末らしい食事を楽しんで頂く	入所者食事代(夕食) 380 × 90人	34,200		93,600
1月	年始のお祝い	1日	正月料理を楽しんで頂く	入所者食事代(朝食) 130 × 90人 入所者食事代(昼食) 310 × 90人 入所者食事代(昼食) 430 × 90人 入所者食事代(昼食) 430 × 90人 入所者食事代(昼食) 440 × 90人 おやつ代 220 × 90人 飲物代他 5,500 × 1回	11,700 27,900 38,700 38,700 39,600 19,800 5,500		181,900
	新年会	2日 3日 6日	1年の始まりを「祝い御膳」でお祝いする				
2月	節分の豆まき	3日	豆まきなど節分の風習を行う	運営費 8,800 × 2フロア		17,600	17,600
3月	おやつレク	16日	季節のおやつを楽しんで頂く	食材費等 440 × 90人 運営費 5,500 × 2フロア	39,600	11,000	50,600
その他	誕生会	随時	入所者様に誕生日プレゼントを贈る	プレゼント代他 880 × 90人		79,200	
	変わり湯の日	月1回	入浴剤による変わり湯を用意する	入浴剤 10,500 × 12回		126,000	
	買い物代行	月2回	ネットショッピングによる買い物	実費			
	個別外出	随時	急なニーズに対応	職員飲食代 840 × 30人 運営費 15,000 × 1回	25,200	15,000	
外出デイ レクリエーション	年16回 随時	季節折々の観光地や公共施設等へ外出グループごとに行うレクリエーション等	職員・ボランティア飲食代 1,240 × 100人 運営費 55,000 × 2フロア	124,000	110,000	479,400	
合 計					837,200	522,700	1,359,900

手稲あんじゅ(介護予防)通所リハビリテーション事業所

利用者様が住み慣れた地域での生活を継続できるよう、利用者様及びご家族が抱える生活課題や支援ニーズを各専門職が協働して評価し、疾患や身体状況、生活環境を踏まえた個別性の高い支援の提供を強化する。

また、職員が利用者様の意向や想いを丁寧にくみ取り、多様なニーズを的確に把握したうえで専門性に基づく個別的アプローチを提供できるよう、専門職としての知識と技術のさらなる向上に努める。

《重点推進課題》

1. 生活動作の維持・獲得を目的とした個別支援プログラムの具体化と実践強化

《中期経営計画 (1)(3)》

「生活状況確認シート」で把握した在宅生活での希望や課題をもとに、生活環境に合った「活動」や「参加」の目標を設定する。あわせて、利用者様の身体機能を生かした達成可能な目標と具体的な支援内容を明確にし、利用者様自身が前向きに「なりたい姿」の実現を目指して生活できるよう、専門職が連携した個別支援を強化する。

【指標・評価方法】

多職種で策定した通所リハビリテーション計画を生活場面に確実に反映させるため、利用者様が自宅で行う「自主トレーニング」や「活動時の留意点」を日常動作と結び付け、「活動」や「参加」を具体的に見える形にして個別性を高める。

また、定期的なカンファレンスを通じて、リハビリテーションや運動内容と生活課題との整合性を再確認するとともに、心理面の変化や意欲の推移を評価し、「環境調整」「家族支援」「自主訓練支援」などを含めた総合的な生活支援を展開する。

さらに、ボランティア活動を一層拡充して余暇活動を充実させ、利用者様の「活動」や「参加」を促進し、在宅生活との連続性と心身の活性を意識した、趣味・嗜好に合った満足度の高い取組活動を提供する。

あわせて、事業収益の安定化を図るため、利用のレポートにつながるイベント等の取組を毎月開催し、広報誌やSNSなどの媒体を活用して関係機関にも広く発信し、利用率の向上に努める。

2. 継続的な研鑽による専門性の向上

《中期経営計画（4）》

個別性の高い支援を実現するため、疾患の理解や介護技術にとどまらず、心理的アプローチや生活環境の調整に関する知識の向上に継続して取り組む。また、専門職としての学習機会を重ね、事業所全体で利用者様一人ひとりの生活を支える「確かな技術」と「寄り添う姿勢」を両立させる。

【指標・評価方法】

昨年度に構築した3か月ごとの定期研修の仕組みを継続するとともに、オンライン研修や手稲区通所サービス連絡会など、外部機関による研修を通じて、継続的な学習機会を定着させる。

あわせて、事業所内ミーティングを活用して外部研修で得た知識や情報を事業所全体で共有するとともに、研修後は専門知識の習得度に加え、実際の支援における行動変容や支援内容の改善状況をアンケート等で検証し、研修の効果を高める。

さらに、生産性向上を意識した業務の効率化を継続的に推進し、業務の標準化に向けた体制づくりを強化する。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会議	デイケア会議	必要に応じて随時開催
	ケースカンファレンス	随時
	主任会議	毎月第1木曜日 16時45分から
	職員会議	必要に応じて随時開催
	サービス担当者会議	随時
委員会	事故防止・苦情検討委員会	毎月第1水曜日 16時45分から
	感染症予防委員会	毎月第2木曜日 16時30分から
	身体的拘束廃止・虐待防止委員会	毎月第3木曜日 16時30分から
	褥瘡予防対策委員会	毎月第2水曜日 16時30分から
	広報・研修委員会	毎月第3水曜日 16時30分から
	衛生委員会	毎月第1木曜日 16時45分から
	生産性向上委員会	3か月に1回(4月・7月・10月・1月)第1木曜日 16時45分から

年間行事予算

(単位:円)

会議	行事名	実施内容	費用内訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
6月	開設記念式典	利用者様への感謝の気持ちを込めて食事を振る舞う	利用者食事代(当日) 440 × 28人	12,320		12,320
7月	土用の丑の日	うなぎを楽しんで頂き、健康を祈願する	利用者食事代(当日) 330 × 28人	9,240		9,240
8月	夏祭り週間	夏祭りの雰囲気を感じられる催しを楽しんで頂く	運営費 5,000 × 6回 食材費等 440 × 28人	12,320	30,000	42,320
9月	敬老祝賀会	お祝いの食事やおやつを楽しんで頂き長寿を祝う	利用者食事代(当日) 440 × 28人 記念品代(賀寿) 3,300 × 10人 運営費 5,000 × 6回	12,320	33,000 30,000	75,320
12月	クリスマス週間 忘年会	ケーキなどを楽しんで頂き、クリスマスの雰囲気を感じて頂く 皆様で食事を囲み、一年を振り返る	おやつ代 220 × 150人 利用者食事代(当日) 440 × 28人	33,000 12,320		45,320
1月	年始のお祝い	1年の始まりを「祝い御膳」でお祝いする	利用者食事代(当日) 440 × 28人		12,320	12,320
3月	野菜詰め放題	野菜の袋詰めを通じて、日頃のリハビリテーションの成果を発揮する	材料費 440 × 150人 運営費 330 × 6回		66,000 1,980	67,980
その他	誕生日会 変わり湯の日 お楽しみイベント レクリエーション	利用者様に誕生日プレゼントを贈る 入浴剤による変わり湯を用意する 利用者様のニーズに合わせた企画 壁面の作成等	プレゼント代 220 × 85人 入浴剤 4,500 × 12回 5,000 × 12回 材料費 5,500 × 12回		18,700 54,000 60,000 66,000	198,700
合 計				91,520	372,000	463,520

手稲あんじゅ(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

利用者様が望む生活の実現に向けて、職員一人ひとりの専門性に基づく効果的なチームアプローチを実践し、利用者様の新たな役割の創出につなげることで、利用者様やご家族をはじめ地域から信頼され、選ばれる事業所を目指す。

《重点推進課題》

1. 利用者様のQOL向上に向けた多角的アプローチの展開

《中期経営計画 (1)(4)(7)》

利用者様の身体機能(ADL)の維持・向上に向けた運動リハビリテーションにとどまらず、家事や趣味、社会参加などの「IADL(日常生活関連動作)」にも積極的にアプローチすることで、利用者様一人ひとりが「その人らしい生活」を送れるよう支援し、本質的なQOL(生活の質)の向上を追求する。

【指標・評価方法】

利用者様及びご家族との細やかなコミュニケーションを通じて情報を詳細に把握し、担当者間で共有したうえで、各専門職によるチーム内ディスカッションを定例化し、個々の専門的知識を組織全体の専門的知識として昇華させる。あわせて、多職種とのカンファレンスや事業所内外の研修から主体的に学びの機会を持ち、利用者様の「新たな役割(家庭や地域で担える活動)」を創出するための具体的なアプローチ力を高める。

また、ケアマネジャーとの密な情報共有を基盤に、リハビリテーションの視点から「新たな役割」を提案し、協働的支援をリードする。

さらに、担当者会議での「AI(人工知能)による議事録作成アプリケーションの活用」による記録業務の時間短縮や、対面方法を基本としつつインターネット環境を活用した「リモート面談(診療)」による移動コストの削減などの業務効率化を推進し、創出した時間をディスカッション等に充て、利用者様と向き合う時間へ還元できる環境を構築する。

在 宅 手 稻

職員内部研修計画

(手稲ゆうゆう入居)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	事故・ヒヤリハットの分析と対策（2025年度集計より）・接遇について	事故対策委員・ジョブメドレー
5月	倫理・法令遵守について	研修委員
6月	認知症の理解について	ジョブメドレー
7月	身体拘束・虐待防止について①	ジョブメドレー
8月	感染症予防対策（食中毒の予防）について	研修委員
9月	感染症や非常災害時の業務継続計画について	ジョブメドレー
10月	感染症について（訓練含む）	感染症予防対策委員・ジョブメドレー
11月	身体拘束・虐待防止について②	身体拘束廃止委員
12月	事故防止対策について	ジョブメドレー
1月	アンガーマネジメントについて	ジョブメドレー
2月	個人情報・プライバシーの保護について	研修委員
3月	医療知識及び緊急時対応について	ジョブメドレー
その他	新規採用職員研修	主任等
	ハラスメント防止研修	外部講師

(手稲ゆうゆう通所)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	接遇について	ジョブメドレー
5月	職業倫理及び法令順守について	研修委員
6月	認知症について	ジョブメドレー
7月	身体拘束廃止について	ジョブメドレー
8月	感染症・食中毒の予防について①	研修委員
9月	非常災害時の対応について	ジョブメドレー
10月	事故防止について①	ジョブメドレー
11月	感染症対応に係る訓練	研修委員
12月	緊急時の対応方法について	ジョブメドレー
1月	高齢者虐待防止について	ジョブメドレー
2月	プライバシーの保護について	研修委員
3月	事故防止について②	ジョブメドレー
その他	新規採用職員研修	副主任等
	ハラスメント防止研修	外部講師

(手稲ゆうゆう居宅)

実施月	研 修 内 容	講 師 等
4月	接遇マナーについて	ジョブメドレー
5月	法令遵守について	研修委員
6月	認知症について	ジョブメドレー
7月	高齢者虐待防止・身体拘束について	ジョブメドレー
8月	感染症について（訓練及びBCP含む）	研修委員
9月	緊急時の対応について・非常災害の対策について（訓練及びBCP含む）	ジョブメドレー
10月	ターミナルケアについて	ジョブメドレー
11月	感染症について（訓練含む）	研修委員
12月	ヤングケアラーについて	ジョブメドレー
1月	感染症について（訓練及びBCP含む）	ジョブメドレー
2月	個人情報保護について	研修委員
3月	緊急時の対応について・非常災害の対策について（訓練及びBCP含む）	ジョブメドレー
その他	新規採用職員研修	副主任等
	ハラスメント防止研修	外部講師

(手稲ゆうゆう訪問)

実施月	研修内容	講師等
4月	接遇マナーについて	研修委員
5月	法令遵守について	研修委員
6月	認知症ケアについて	外部講師（手稲区第二包括）
7月	身体拘束・虐待防止について	外部講師（社会福祉協議会）
8月	感染症について	研修委員
9月	非常災害時の業務継続計画について	研修委員
10月	アンガーマネジメントについて	ジョブメドレー
11月	感染症について（訓練含む）	研修委員
12月	緊急時対応について	ジョブメドレー
1月	ハラスメント防止・対策	ジョブメドレー
2月	プライバシー保護について	研修委員
3月	事故対応と再発防止について	サービス提供責任者等
その他	新規採用職員研修	主任等
	ハラスメント防止研修	外部講師

認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう
手稲ゆうゆう通所介護事業所
手稲ゆうゆう指定居宅介護支援事業所
手稲ゆうゆう訪問介護事業所
手稲ゆうゆう居宅介護事業所
札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

認知症対応型共同生活介護 手稲ゆうゆう

入居者様が手稲ゆうゆうで安全・安心に暮らしていくために、日々の生活を通して、健康で充実した生活が送れるように支援する。

《重点推進課題》

1. 健康保持及び尊厳を守れる支援

《中期経営計画 (1)(2)(4)》

入居者様が健康に暮らせるよう、運動及び食事摂取、睡眠状況等の観察を継続し、健康保持を図る。また、入居者様の自己選択を尊重し、個人の尊厳を守れる支援を行う。

【指標・評価方法】

- ① ご家族、協力医療機関の訪問診療医、訪問看護ステーションと情報を共有し、連携体制を構築する。
- ② 管理栄養士が作成した献立により、栄養バランスの摂れた食事を提供する。
- ③ 日々の体操や入居者様一人ひとりに合わせた運動を行って、体力を維持する。
- ④ 入居者様とご家族の生活時間が有意義なものとなるよう、面会や行事の拡充を図る。
- ⑤ 職員の接遇・マナー研修、認知症介護に関する研修などを通じ、質の良いサービス提供に対する職員の意識向上を図る。

年間会議予定

	会議 予 定 (開 催 日)	対 象 職 員
会議	ユニット会議・・・毎月開催	全職員
	職員会議・・・毎月第4水曜日15:00開催	全職員
	運営推進会議・・・2か月に1回奇数月第4水曜日14:00～15:00	家族、町内会役員、包括支援センター他

年間行事予算

(単位:円)

月	行 事 名	実 施 内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	花見外出	ドライブ、桜見物を行う				0
5月	端午の節句 母の日	女性入居者お祝い	柏餅代 500 × 18 人 カーネーション代 ケーキ代 550 × 17 人 予備費	9,000 1,000	8,000 9,350	27,350
6月	父の日	男性入居者お祝い	ケーキ代 550 × 1 人 予備費	10,000	550	10,550
7月	出前	お好みの出前を食べる	出前(昼食代)			0
8月	夏祭り 七夕	夏祭り 七夕の飾りを行う	運営費 装飾費		50,000 3,000	53,000
9月	敬老祝賀会	祝賀会	装飾費 記念品代 700 × 18 人 祝品代 3,000 × 18 人 予備費	12,600 54,000	10,000 10,000	86,600
10月	外出レク	入居者の要望に沿った外出を行う				0
12月	クリスマス会・忘年会	クリスマス・忘年会	装飾費 プレゼント代 1,100 × 18 人 ケーキ代 550 × 18 人 予備費	9,900	10,000 19,800 10,000	49,700
1月	お正月 新年会	ゲーム等を行い新年をお祝いする	お供え餅・日めくり代 ゲーム材料代 和菓子代 500 × 18 人	9,000	10,000 5,000	24,000
2月	節分		装飾費		2,000	2,000
3月	桃の節句		装飾費 桜餅代 500 × 18 人	9,000	2,000	11,000
通年	書籍代				20,000	20,000
	ユニット装飾費(春・夏・秋・冬)				20,000	20,000
	鉢花代				10,000	10,000
	ショッピング・お好み献立・パン献立・手作りおやつ・・・毎月実施					
合 計				114,500	199,700	314,200

※外出行事については、感染状況を踏まえ実施予定とする。中止の場合は室内での行事を検討。

手稲ゆうゆう通所介護事業所

通所介護は、自宅での生活の継続支援、生活機能の維持や向上を図ることを目的にしている。利用者様の「笑顔」が溢れる生活をできるよう支援していきたい。

《重点推進課題》

1. 利用者様のもてる力の発揮と安心した暮らしを継続できる環境づくり

《中期経営計画（1）（2）》

利用者様が求める情報の収集を適宜行い共有し、計画に基づいたサービス提供をする為、機能維持・環境整備に繋げるように取り組む。

【指標・評価方法】

利用者様の在宅生活が継続できるよう、意見・要望について把握する時間をつくる。

毎日の夕方ミーティング、月1回のデイサービス会議にて、利用者様についてのアセスメントやモニタリングの内容を効率的に共有する。更に、利用者様が来所時に1つでも笑顔でいられるような場面を引き出す工夫をする。

ご家族の意向を把握できるよう、送迎時や電話対応時に日々の利用状況を含めた内容が日々伝えられることで関係性づくりに繋げていく。

2. 職員が安心して働き続けられる業務の見える化

《中期経営計画（4）（5）》

職員がコミュニケーションをとりやすい職場づくりを目指し、質の高い話し合いのできる環境をつくる。また、利用者様のニーズに応える為に、稼働率を高水準で維持できる体制を整える。

【指標・評価方法】

良好な人間関係を構築するために、提案の仕方、意見に対して受け止める力を養うためミーティングを活用する。

生産性向上の視点を取り入れるため、現状で行っている業務の再点検及び多角的に改善できる部分がないかの洗い出しを、ミーティングや会議にて行っていく。

年 間 会 議 予 定

	会 議 予 定	開 催 日
会議	デイサービス会議	毎月第3水曜日 17:30～
	ケースカンファレンス・モニタリング	随時
	サービス担当者会議	随時

年 間 行 事 予 定

(単位:円)

月	行 事 名	実 施 内 容	費 用 内 訳	給食材料費	教養娯楽費	合計予算金額
4・5月	花見	ドライブ、桜見物を行う	飲み物代 100 × 50 人		5,000	5,000
5月	歩こう会達成者外出レク	ロイズorエスコンフィールドor白い恋人パーク	飲み物代 200 × 15 人		3,000	3,000
6月	開設記念日	昼食	利用者食事代(当日) 440 × 30 人	13,200		13,200
7月	土用の丑の日	昼食	利用者食事代(当日) 330 × 30 人	9,900		9,900
	食レク	かき氷	運営費 30 × 180 人		5,400	5,400
8月	食レク	かき氷	運営費 30 × 180 人		5,400	5,400
9月	敬老祝賀会 (3日間実施予定)	賀寿者お祝い ビンゴ大会	利用者食事代(3日間) 524 × 90 人	47,160		158,160
			記念品代 550 × 90 人		49,500	
			記念品代(賀寿) 3,000 × 15 人		45,000	
			運営費		16,500	
10月	食レク	秋の味覚(焼き芋)	運営費 335 × 90 人		30,150	30,150
11月	食レク	未定	運営費 50 × 90 人		4,500	4,500
12月	食レク	餅つき(お汁粉)	運営費 100 × 90 人		9,000	9,000
	忘年会	昼食	利用者食事代(当日) 440 × 30 人	13,200		13,200
1月	新年会 (3日間実施予定)	ビンゴ大会	プレゼント代 550 × 90 人	47,160	49,500	131,160
			利用者食事代 524 × 90 人		18,000	
			おやつ代 200 × 90 人		16,500	
			運営費			
	新年会	昼食	利用者食事代(当日) 440 × 30 人	13,200		13,200
2月	食レク	未定	運営費 50 90 人		4,500	4,500
3月	食レク	未定	運営費 50 × 90 人		4,500	4,500
通年	レクリエーション制作教材費		23,000 × 12 ヵ月		276,000	
	誕生会(プレゼント代)		550 × 120 人		66,000	
	ボランティア謝礼		3,000 × 6 回		18,000	360,000
合 計				143,820	626,450	770,270

手稲ゆうゆう 指定居宅介護支援事業所

当事業所は開設以来、地域に根ざした居宅介護支援事業所として、利用者様が住み慣れた地域で自分らしい生活を継続できる様支援させていただいている。今後も介護保険法及び関係法令を遵守し、公正中立なケアマネジメントを行うと共に、特定事業所として質の高いケアマネジメントを行っていく。

《重点推進課題》

1. 地域の方々や関係機関から安心して相談をいただける事業所作りを目指し、担当利用者数の安定を図ると共に、質の高いケアマネジメントを行う。

《中期経営計画 (1)(2)(3)(4)》

利用者様が望まれる生活を可能な限り継続する事ができるように支援を行い、「この事業所の方にお願いできて良かった」と思っただけの事を旨とする。利用者様及びご家族の意向を丁寧に把握し、信頼関係を大切にされたケアマネジメントを行えるように、事業所一丸となって努めていく。

また、利用者様との信頼を積み重ねていく事により、地域の方々の安心感を広げて、当事業所の存在をより多くの方に知っていただく事を旨とする。その結果、新規の相談を数多くいただける様にも努めていく。

【指標・評価方法】

- ① 専門職として、利用者様やご家族の想いを的確に把握し、知識や技術等、コミュニケーションを通じて提供していきながら、親身に寄り添った支援を行っていく。
- ② 利用者様の支援はもちろんの事、ご本人を支えるご家族にもしっかり目を向け、定期訪問・電話連絡以外にも必要であれば、ご家族のみで面談の機会を持つ等、抱えている不安や悩みの早期発見と受容に努める。また迅速かつ誠実な対応を心がけ、信頼関係の構築に努める。
- ③ 利用者様により良い支援を提供していくには、個々の専門職としてのスキルアップは必須である。その為にも専門的知識や技術を学ぶ為の研修への参加、関連機関との様々な情報の共有等、日々自己研鑽に努めていく。
- ④ 事業所の担当利用者総数の安定を図る為にも、新規相談については今まで紹介をいただけている地域(札幌市手稲区・小樽市)を軸としていく。また、各事業所へ顔の見える関係作りを築いていく為にも、営業を兼ねての挨拶回り等を随時行っていく。併せて電話やFAX等による情報発信についても、随時行っていく。

手稲ゆうゆう訪問介護事業所 手稲ゆうゆう居宅介護事業所

介護現場の生産性向上は、事業の存続とケアの質向上のために避けては通れない経営課題である。人材確保のための募集を根気良く続けると共に、業務の効率化を徹底し、職員の時間的・精神的余裕を生み出すことで、これまで以上に丁寧で個別性を活かしたケアを提供する。

《重点推進課題》

1. ケアの質の向上

《中期経営計画 (1)(2)(4)(5)》

業務の効率化によって生み出された時間や資源を、利用者様への質の高いケアに繋げる。

【指標・評価方法】

① 生産性向上

業務の「ムリ・ムダ・ムラ」を無くし、コスト削減や雑務の整理を行う。

② 人材確保

職員の確保が極めて困難な状況であるため、限られた人材で質の高いサービスを提供します。一人ひとりの業務負担を軽減し、勉強会や研修などを通して、専門性を最大限に活かす働き方を目指します。

札幌市手稲区介護予防センター稲穂・金山・星置

現在、稲穂金山地区は手稲区内でも高齢化率が2番目、星置地区は3番目に高く、今後も上昇していく見込みである。介護予防活動が地域住民の皆様にとって身近なものとなるよう、地域と連携を図りながら取組みを進める。

《重点推進課題》

1. 介護予防教室の普及啓発と工夫

《中期経営計画 (1)(3)》

予防センターが地域の皆さまにとって、より身近な相談機関として認識頂ける様、関係構築を継続して行う。すこやか倶楽部や運動教室に新規で参加して頂けるような工夫を行う。

【指標・評価方法】

- ① 他予防センターの取り組みや、実施する介護予防教室の内容を参考に、自センターの取り組みを充実させる。新規参加者獲得を目標に活動する。
- ② すこやか倶楽部・通いの場参加者から、地域活動の聞き取りを行い、予防事業の周知及び活動の幅を広げる。積極的に地域活動へ参加し、予防センターの認知度アップに繋げ、事業の周知を図る。
- ③ 地区内には運動グループが無い地域(空白地帯)も存在することから、運動できる場所が確保できるよう、地域住民等から情報収集を行う。
- ④ 地域で活動されている方が介護予防・福祉について相談しやすいように、風通しの良い関係性の構築を目指す。年度初めに「すこやか倶楽部」や「自主運動グループ」などで、改めて介護予防センターの役割を周知していくことで、新規に参加される方にも事業の役割を知っていただけるように努める。

年間会議予定

	会議予定(開催日)	対象事業所
会議	地区地域ケア会議(予防センター主催):稲穂金山地区・星置地区各1回、年2回	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	手稲区連絡会議(区保健師・包括・予防・区社協):月1回(回数変更の可能性あり)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	地区連絡会議(区保健師・包括・予防・区社協):月1回(回数変更の可能性あり)	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	手稲区地域ケア推進会議(包括主催):年2回	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	介護予防・HARP事業情報交換会(区内予防センター、担当PT):毎月第4火曜日	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	自主活動化支援業務:区内予防センター共催2回、自センター開催1回	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	稲穂金山地区福祉のまち推進センター事務局会議:月1回 第1木曜日	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	星置地区福祉のまち推進センター運営会議:月1回 第1火曜日	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	稲穂金山地区民生・児童委員協議会会議:月1回 第4木曜日、隔月にて出席	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	星置地区民生・児童委員協議会会議:月1回 第4月曜日、隔月にて出席	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	稲穂金山健康づくり事業:年1回 時期未定	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置
	市内介護予防業務連絡会議:年3回 時期未定	手稲区介護予防センター・稲穂・金山・星置

介護予防普及啓発事業予定・予算

(単位:円)

月	活動名	費用内訳	金額	合計予算金額	
4月	介護予防すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会場借上代	実施回数 3回	8,500	8,500
			実施回数 2回		
5月	介護予防すこやか倶楽部 屋外すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会場借上代	実施回数 3回	8,000	20,000
		講師謝礼代	実施回数 3回	12,000	
			実施回数 3回		
			実施回数 2回		
6月	介護予防すこやか倶楽部 屋外すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会場借上代	実施回数 3回	8,000	8,000
			実施回数 3回		
			実施回数 2回		
7月	介護予防すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会場借上代	実施回数 3回	8,000	23,000
		講師謝礼代	実施回数 3回	12,000	
		熱中症対策	実施回数 3回	3,000	
			実施回数 2回		
8月	介護予防すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会場借上代	実施回数 3回	8,000	11,000
		熱中症対策	実施回数 3回	3,000	
			実施回数 2回		
9月	介護予防すこやか倶楽部 屋外すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会場借上代	実施回数 3回	8,000	23,000
		講師謝礼代	実施回数 3回	12,000	
		熱中症対策	実施回数 3回	3,000	
			実施回数 2回		
10月	介護予防すこやか倶楽部 屋外すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会場借上代	実施回数 3回	8,000	11,000
			実施回数 3回	3,000	
			実施回数 2回		
11月	介護予防すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会場借上代	実施回数 2回	9,500	21,500
		講師謝礼代	実施回数 3回	12,000	
			実施回数 2回		
12月	介護予防すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会場借上代	実施回数 3回	9,500	9,500
1月	介護予防すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会場借上代	実施回数 3回	9,500	21,500
		講師謝礼代	実施回数 3回	12,000	
			実施回数 2回		
2月	介護予防すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会場借上代	実施回数 3回	9,500	9,500
3月	介護予防すこやか倶楽部 オンラインすこやか倶楽部	会場借上代	実施回数 3回	9,500	21,500
		講師謝礼代	実施回数 3回	12,000	
			実施回数 2回		
	介護予防機能強化業務	会場借上代	実施回数 24回	50,000	153,000
		運動用ゴムバンド代(緑×2,赤×3)		77,000	
	材料費(資料作成・印刷・運動CD作成物品等)	実施回数 24回	26,000		
	地域福祉活動支援事業	材料費(講話資料・物品購入・印刷代等)	実施回数 36回	16,000	
	オンライン接続料金(モバイルルーター代)	実施回数 12回	38,400	54,400	
	その他活動予備費	その他介護予防事業等の予備経費		100,000	100,000
合 計				495,400	495,400

特 養 音 更

職員内部研修計画

(ロータス音更 入所・短期・通所)

実施月	研修内容	講師等
4月	感染症予防及び蔓延防止のための研修①	感染予防対策委員会
5月	認知症に関する研修(事例検討)	各担当職員
6月	人権擁護、虐待防止についての研修①	虐待防止委員会
7月	事故防止対策、身体拘束廃止についての研修①	各委員会委員長
8月	看取りに関する研修	看取り介護検討委員会
9月	認知症に関する研修	認知症対応型通所介護事業所
10月	避難訓練①(日中想定、自然災害想定BCP訓練)	施設向上研修委員会
11月	虐待防止に関する研修②	虐待防止委員会
12月	事故防止対策、身体拘束廃止に関する研修②	事故防止対策検討委員会
1月	感染症予防及び蔓延防止のための研修②	感染予防対策委員会
2月	避難訓練②(夜間想定、救命救急訓練)	施設向上研修委員会
3月	口腔・嚥下機能について	つがやす歯科医院
その他	新規採用職員研修	各担当職員
	入浴介護に関する研修	通所介護事業所
	BCP訓練(感染症想定)	各担当職員
	接遇に関する研修	各担当職員
	褥瘡予防に関する研修	各担当職員
	コミュニケーションに関する研修	各担当職員
	プライバシー保護に関する研修	各担当職員
	メンタルヘルス・アンガーマネジメント	各担当職員
	倫理・法令遵守に関する研修(ハラスメント・コンプライアンス)	各担当職員

(音更町地域包括支援センターロータス音更・あんじゅ音更居宅介護支援事業所)

実施月	研修内容及び委員会	講師等
4月	高齢者虐待防止検討委員会 / 音更町ケアマネジャー連絡会	管理者、担当者 / 音更町・包括支援センター
6月	音更町ケアマネジャー連絡会	音更町・包括支援センター
7月	感染対策委員会	管理者、担当者
8月	認知症について/音更町ケアマネジャー連絡会	ジョブメドレー/ 音更町・包括支援センター
9月	法令・倫理について	ジョブメドレー
10月	BCP(災害)発動訓練 / 高齢者虐待防止検討委員会 / 音更町ケアマネジャー連絡会	管理者、担当者 / 音更町・包括支援センター
11月	BCP(災害)研修会	未定
12月	高齢者虐待防止に関する研修 / 音更町ケアマネジャー連絡会	ジョブメドレー / 音更町・包括支援センター
1月	感染対策委員会	管理者、担当者
2月	BCP(感染)研修会/音更町ケアマネジャー連絡会	ジョブメドレー/音更町・包括支援センター
3月	BCP(感染)発動訓練	管理者・副主任等
その他	地域ケア会議(自立支援型個別ケア会議等)	
	北海道CM協会・帯広市CM連絡協議会等主催の外部研修	

介護老人福祉施設 ロータス音更
ロータス音更通所介護事業所
ロータス音更(介護予防)認知症対応型通所介護事業所
音更町地域包括支援センター ロータス音更
あんじゅ音更 指定居宅介護支援事業所

介護老人福祉施設 ロータス音更

入居者様一人ひとりの個性や価値観、生活習慣や心身の状態を深く理解し、施設、及び職員は、その人らしい生活が送れるよう、優しさと思いやりを持って、安心、安全なケアを提供するとともに、サービスの質の向上に努め支援する。また、ご家族や地域、医療と連携し、個人の意思を尊重した支援を目指す。

《重点推進課題》

1. 入居者様の思いに寄り添った、暮らしの支援を提供する

《中期経営計画 (1)(2)(3)(4)》

入居者様が笑顔で穏やかに過ごせる毎日を大切にし、ご家族との交流の機会を増やし、外出行事などの楽しみを広げながら、安心感とQOL(生活の質)の向上を目指す。

そのため、入居者様に合った個別ケアを追求し、ご家族と共に居心地の良い「生活の場」を整えていく。また、細かなニーズに丁寧に応え、その人らしさを大切にしつつ、入居者様が自分の意向に沿った選択ができるよう寄り添いながら支援していく。職員は信頼関係を築けるようコミュニケーションスキルを磨き、必要な知識と技術を身に付けながら、入居者様が安心して過ごせる環境づくりに努めていく。

【指標・評価方法】

入居者様が何を望んでいるか、思いを汲み取り、安心して気持ちを伝えられる関係を育てながら、その思いを生活の中で実現できるよう支えていく。また、言葉だけでなく、表情やしぐさ、日々の小さな変化にも心を寄せ、入居者様が大切にしていることを受けとめていく。

安心して過ごせる環境を整えるために、日々の生活の中で入居者様の様子を見守り、危険につながる小さなサインにも気づけるよう配慮する。転倒や誤嚥などの事故を未然に防ぐために、環境の調整や声かけをこまめに行い、入居者様が不安なく過ごせる空間を守っていく。こうした細やかな配慮を積み重ねることで、穏やかで安全な暮らしを支えていく。また、誤薬を防ぐために、薬の準備・確認・服薬介助を慎重に行い、複数の職員によるダブルチェックや記録の徹底を通して、安心して服薬できるよう努める。

ご家族や地域社会との交流の機会を設けるため、四季に合わせた行事、外部余興や個別外出を通して、楽しみや生きがいにつながる活動を提案し、入居者様とご家族が笑顔で、共に過ごす時間を提供する。

入居者様が安心してサービスを受けることができるよう、施設内の各会議及び感染症予防、事故防止、虐待防止、身体拘束廃止等の各委員会の実施内容を周知徹底し、サービスの改善を図る。

施設職員として、自らの役割に責任を持ち、自らの考えや経験を他者に伝え、行動することができる主体的な職員を育成するため、施設内研修を充実させるほか個人目標を設定し、定期的に面談及び評価を実施する。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	職員会議	4月・10月 第1水曜日 16:30～
	運営ミーティング	毎月 第1木曜日 15:45～
	主任会議	毎月 第1木曜日 14:30～
	ケアプランカンファレンス	毎週 火曜日 11:00～
	ユニット会議 / ミニカンファ	ユニット毎月1回実施 / 毎週1回及び月1～2回
研 修	施設内研修	毎月 第4火曜日 16:30
懇談会	給食懇談会	毎月 第3水曜日 15:00～
委員会	給食委員会	毎月 第4木曜日 15:45～
	虐待防止対策検討委員会	4月・10月(その他の月は必要に応じ開催) 第1木曜日 15:45～
	身体拘束廃止委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第1木曜日 15:45～
	事故防止対策委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第4月曜日 15:45～
	感染症予防対策委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第2水曜日 15:45～
	施設向上研修委員会	4月・6月・8月・10月・12月・2月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第3木曜日 15:45～
	看取り介護検討委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第2木曜日 15:45～
	口腔機能向上委員会	4月・7月・10月・1月・3月(その他の月は必要に応じ開催) 第4金曜日 15:45～
	痰の吸引等安全対策委員会	対象者がいる場合に随時実施

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月		お花見	桜を見ることで季節感を感じて頂く(徒歩圏内)
5月	3日(日)	開設記日	開設記念日に特別なイベントと食事を提供する
6月	28日(日)	お祭り行事	各ユニットでお祭り行事を実施する
7月		夏のイベント食	夏を感じる特別なイベントと食事を提供する
8月		納涼会	ユニット毎に食事をして楽しむ
9月	6日(日)	敬老祝賀会	長寿を祝い、記念品の贈呈を行う
10月		秋のイベント食	秋を感じる特別なイベントと食事を提供する
11月		冬のイベント食	冬を感じる特別なイベントと食事を提供する
12月		クリスマス会・忘年会 もちつき	ユニット毎に企画を立て、親睦を図り1年の労をねぎらう ユニットなどの単位で餅つきを行う(感染状況に応じる)
1月		正月	お正月の食事メニューを楽しむ
2月		節分行事 デザートバイキング	入居者による豆まきをし、1年の厄を払い健康に過ごして頂く デザートの盛り合わせを提供する
3月		ひな祭り行事	ひな壇を飾り、お寿司を食べて楽しむ

【備考】

※「誕生会」各ユニットにて入居者の誕生日に合わせ個別に実施

※「ユニット行事」年間予定行事を企画しながら随時実施

※「足湯」移動式天然モール足湯出張

※「床屋」毎月第1、第2火曜・第2木曜、第4月曜・毎週水曜

※「避難訓練」年2回実施(日中・夜間想定)

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
5月	開設記念日	4日	開設記念の特別食を提供	入居者食事代 700 × 80人 お茶菓子代 200 × 80人	56,000 16,000		72,000
6月	夏のイベント お祭り	28日	イベント食を楽しむ 各ユニットにてお祭りを行う。	入居者食事代 300 × 80人 入居者食事代 600 × 80人 飾り付け材料代外 200,000 ゲーム景品代 5,000	24,000 48,000	200,000 5,000	24,000 253,000
7月	七夕行事 イベント食		イベント食 ソフトクリーム 土用の丑の日	入居者食事代 100 × 80人 入居者食事代 100 × 80人 入居者食事代 150 × 80人	8,000 8,000 12,000		28,000
8月	納涼会		イベント食を楽しむ ソフトクリーム	入居者食事代 300 × 80人 入居者食事代 100 × 80人	24,000 8,000		32,000
9月	敬老行事	7日	長寿を祝い、表彰を行う。	入居者食事代 700 × 80人 被表彰者記念品 3,000 × 10人 お茶菓子 300 × 80人	56,000 30,000 24,000	30,000	110,000
10月	秋のイベント		イベント食を楽しむ(お寿司行事)	入居者食事代 600 × 80人 お茶菓子代 200 × 80人	48,000 16,000		64,000
11月	冬のイベント		お楽しみ食事会	入居者食事代 300 × 80人	24,000		24,000
12月	クリスマス・忘年会 クリスマス もちつき 大晦日	31日	各ユニットにてクリスマスを楽しむ クリスマス用献立 もちつき行事 おせち料理で新年を祝う	飾り付け材料代外 1,500 × 8 ^{ユニット} プレゼント代 300 × 80人 鍋行事 350 × 80人 飲み物代 150 × 80人 クリスマス用献立 150 × 80人 入居者食事代 5,000 入居者食事代 150 × 80人	28,000 12,000 12,000 5,000 12,000	12,000 24,000	105,000
1月	正月	1日	おせち料理で新年を祝う	入居者食事代 800 × 80人 飲み物代等 100 × 80人	64,000 8,000		72,000
2月	節分	3日	豆まきを楽しむ	豆と代替え食品代 5,000 食事代 200 × 80人	16,000	5,000	21,000
3月	ひな祭り行事	3日	行事食を楽しむ(寿司行事) デザート行事	生寿司 600 × 80人 お茶菓子代 300 × 80人 食材費 10,000	48,000 24,000 10,000	24,000	82,000
通年	誕生会 ユニット行事 天然モール足湯 季節のお菓子		誕生日プレゼント 各ユニットで調理レク等イベントを開催する。 移動式天然モール足湯出張 季節のお菓子	プレゼント代 1,300 × 80人 材料代 4,000 × 8回 材料代 2,500 × 6人 食材費 800 × 80人 × 1年間	104,000 32,000 15,000 64,000		215,000
合 計					643,000	459,000	1,102,000

ロータス音更(介護予防)通所介護事業所 ロータス音更(介護予防)認知症対応型通所介護事業所

利用者様のご自宅や当事業所において、健康で快適な生活を送れるよう、個々の思いに寄り添い、安心して通うことのできる場所を目指します。また、身体機能・心身機能の維持・向上を目指し、個々に適したサービスの提供の継続を行います。

《重点推進課題》

利用者様中心のサービスの質の向上を図るため、個々との関わりを大切にし、ニーズに合わせた支援の提供と信頼関係を築き、利用者様の満足度の向上と心身機能・身体機能の維持、向上を目指し、継続して通所していただける事業所を目指す。

《中期経営計画 (1)(2)(3)》

【指標・評価方法】

利用者様へ年に2回サービスの質のアンケートの実施を行い、具体的な支援の継続や改善に努める。また、個々が選択できる趣味活動の提供や、希望内容の検討・目標設定を行い、ご本人が意欲的に楽しみをもって通所できるよう支援を行う。

外出行事や散歩など、屋外に出る機会をつくり、季節を感じていただきながら、活動する機会をもち、身体機能の維持・向上に努める。

利用者様が地域ボランティアの方々と一緒に楽しめる行事計画をたて、ご家族以外ともコミュニケーションを図れるよう努める。

利用者様と花や野菜の栽培を行い、成長を楽しみながら植物の水やりなど役割として実施していただき、職員や他利用者様との交流を深めていけるよう支援していく。また、収穫した野菜で調理をおこない、季節の食材を堪能し、生活の活力になるサービスを目指す。

到着時のバイタル測定時に利用者様と対話をしながら、顔色や動作の観察等を行い、体調の変化を見逃さないよう努める。また、ミーティングや会議等で情報共有を行い、職員間での情報共有や、対応の統一を図る。また、ご家族や介護支援専門員へも日々の様子も含め情報共有を行い、利用者様とご家族が安心して当事業所を利用できるよう支援していく。

安全な入浴介助技術と、認知症の方の不安に寄り添う丁寧な接遇を行うための研修を実施し、職員のスキルを高める。それにより、利用者様が健康で快適に、かつ安心した気持ちで過ごしていただける環境づくりに努める。

会議予定(開催日)		対象職員
会議	職員会議(4, 10月)	全職員
	デイ会議(毎月第3金曜日)	全職員
	運営ミーティング(月1回)	役職員
	ケースカンファレンス(毎月第1水曜日)	全職員

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	農園・園芸活動	花や野菜などの成長と収穫を楽しむ。	園芸用品代 7,500		7,500	7,500
5月	母の日週間	母の日を祝う	プレゼント代 700 × 80人		56,000	
	入浴イベント(菖蒲湯)	変わり湯を視覚と嗅覚で楽しみドリンクを提供。	入浴材料代 3,000		3,000	59,000
6月	夏のイベント食	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日)	食事代 300 × 30人	9,000		
	父の日週間	父の日を祝う	プレゼント代 700 × 25人		17,500	26,500
7月	夏祭り行事(3日間)	夏の雰囲気を楽しむ飾りや活動の実施	飲食代(屋台風) 400 × 30人	12,000		
	イベント食	七夕	食事代 100 × 30人	3,000		
	イベント食	土用の丑の日	製作材料・ゲーム景品代 5,000 食事代 150 × 30人	4,500	5,000	24,500
8月	入浴イベント(季節の香り)	変わり湯を視覚と嗅覚で楽しみドリンクを提供。	入浴材料、水分代 2,000		2,000	2,000
9月	敬老週間	長寿を祝い表彰と記念品の贈呈を行う。	節目対象者記念品代 1,500 × 12人		18,000	
			全員対象記念品代 500 × 80人		40,000	
	敬老イベント食	イベント食を提供し楽しむ	製作材料費 3,000 食事代 400 × 30人	12,000	3,000	73,000
10月	秋のイベント食	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日)	食事代(お寿司行事) 600 × 30人	18,000		
	入浴イベント(フェイスパックなど)	変わり湯と入浴後スキンケアを受け楽しむ。	入浴材料、パック代 3,000		3,000	
	運動会レク	運動を取り入れたレクの実施	材料費 3,000		3,000	24,000
11月	冬のイベント食	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日)	食事代 300 × 30人		9,000	
	おやつレク	手作りおやつを楽しむ。	食材料費 100 × 30人		3,000	12,000
12月	クリスマス忘年会(3日間)	クリスマス・年末イベント	プレゼント代 600 × 80人		48,000	
			製作材料・ゲーム景品代 7,000		7,000	
	入浴イベント(ゆず湯)	変わり湯を視覚と嗅覚で楽しむ。	入浴材料代 3,000 クリスマス献立 150 × 30人	4,500	3,000	62,500
1月	冬の昼食行事	雰囲気の違い、昼食を楽しむ。	食材料費 400 × 30人	12,000		
	餅つき(鏡開き)	餅つきを行い季節感を味わいながら楽しむ。	食材料費 2,000	2,000		14,000
2月	節分行事	節分にちなんだレクや、お茶菓子を楽しむ。	お茶菓子材料費 2,000		2,000	
			食事代 200 × 30人	6,000		
	おやつレク	手作りおやつを楽しむ。	食材料費 100 × 30人		3,000	11,000
3月	ひな祭りイベント食	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日)	食事代(お寿司行事) 600 × 30人	18,000		
	ひな祭り行事	ひな祭りを行う。お茶菓子を楽しむ。	お茶菓子材料費 2,000		2,000	20,000
通年	レクリエーション製作材料費		6,000 × 12ヶ月		72,000	
	誕生会(プレゼント代)		300 × 80人		24,000	
	利用者購読用		週刊誌代(2種類) 2,500 × 12ヶ月		30,000	
	新聞代		道新スポーツ・勝毎購読料 5,962 × 12ヶ月		71,544	
	季節のお茶菓子(1人1回 200円 全4回 / 80人)		800 × 80人	64,000		
	カフェ行事		飲食材料代 1,500 × 12ヶ月		18,000	279,544
合 計				165,000	450,544	615,544

会議予定 (開催日)		対象職員
会議	職員会議(4, 10月)	全職員
	デイ会議(毎月第3金曜日)	全職員
	運営ミーティング(月1回)	役職員
	ケースカンファレンス(毎月第1水曜日)	全職員

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	農園・園芸活動	花や野菜などの成長と収穫を楽しむ	園芸用品代 6,500		6,500	6,500
5月	母の日週間	母の日を祝う	プレゼント代 700 × 20人		14,000	15,500
	入浴イベント(菖蒲湯)	変わり湯を視覚と嗅覚で楽しむ	入浴材料代 1,500		1,500	
6月	夏のイベント食	イベント食の提供(入所と同日)	食事代 300 × 12人	3,600		6,400
	父の日週間	父の日を祝う	プレゼント代 700 × 4人		2,800	
7月	夏祭り行事(3日間)	夏の雰囲気を楽しむ飾りや活動の実施	飲食代(屋台風) 1日 400 × 12人	4,800	3,500	11,300
			製作材料・ゲーム景品代 3,500			
	イベント食	七夕	食事代 100 × 12	1,200		
	イベント食	土用の丑の日	食事代 150 × 12	1,800		
8月	入浴イベント(季節の香り)	変わり湯を視覚と嗅覚で楽しみドリンクを提供。	入浴材料、水分代 1,500		1,500	1,500
9月	敬老週間	長寿を祝い表彰と記念品の贈呈を行う。	節目対象者記念品代 1,500 × 6人		9,000	28,300
			全員対象記念品代 500 × 25人		12,500	
			製作材料費 2,000		2,000	
	敬老イベント食	イベント食の提供	食事代 400 × 12人	4,800		
10月	秋のイベント食	イベント食の提供(入所と同日)	食事代(お寿司行事) 600 × 12人	7,200		10,700
	入浴イベント(フェイスパックなど)	変わり湯と入浴後スキンケアを受け楽しむ。	入浴材料パック代 1,500		1,500	
	運動会レク	運動を取り入れたレクの実施	材料費 2,000		2,000	
11月	冬のイベント食	イベント食の提供(入所と同日)	食事代 300 × 12人	3,600		4,800
	おやつレク	手作りおやつを楽しむ。	食材料費 100 × 12人		1,200	
12月	クリスマス忘年会(3日間)	クリスマスや年末にちなんだイベントの開催	プレゼント代 600 × 25人		15,000	22,300
			製作材料・ゲーム景品代 4,000		4,000	
	入浴イベント(ゆず湯)	変わり湯を視覚と嗅覚で楽しむ。	入浴材料代 1,500		1,500	
			クリスマス献立 150 × 12人	1,800		
1月	餅つき(鏡開き)	餅つきを行い季節感を味わいながら楽しむ。	食材料費 1,000	1,000		5,800
	冬の昼食行事	雰囲気の違う、昼食を楽しむ。	食材料費 400 × 12	4,800		
2月	節分行事	豆まきやお茶菓子を楽しむ。	おやつ材料費 1,000		1,000	4,600
			食事代 200 × 12	2,400		
	おやつレク	手作りおやつを楽しむ。	食材料費 100 × 12		1,200	
3月	ひな祭りイベント食	イベント食を提供し楽しむ(入所と同日)	食事代(お寿司行事) 600 × 12人		7,200	8,200
	ひな祭り行事	ひな祭りを行う。お茶菓子を楽しむ。	おやつ材料費 1,000		1,000	
通年	レクリエーション製作材料費		3,000 × 12ヶ月		36,000	73,100
	誕生会(プレゼント代)		300 × 25人		7,500	
	カフェ行事		飲食用材料代 800 × 12ヶ月		9,600	
	季節のお茶菓子(1人1回200円全4回 / 25人)		800 × 25人	20,000		
			合計	57,000	142,000	199,000

音更町地域包括支援センター ロータス音更

音更町C圏域の地域の総合相談窓口として、心身の健康保持を目的とした健康イベントの開催や民生委員・地域関係者などと、地域住民の生活課題や地域課題の解決に向けた、必要な援助を行い、住み慣れた地域で安心して過ごす事ができる地域づくりに貢献していく。

《重点推進課題》

地域住民の健康増進を図り、安心して暮すことのできるまちづくりの実現に向けて

《中期経営計画 (1)(2)(3)》

町の目指す地域包括ケアを推進するため、総合相談窓口・介護予防計画作成など、基本的な役割に加え、総合相談の拠点機能を通じて、地域住民の生活課題から地域課題を抽出し、地域包括ケア実現に向けた機能の強化を図っていく。また地域住民の健康増進を図る目的や顔の見える関係を構築する目的のため、みんなの笑顔(健康イベント)を開催し、地域住民のより良い生活の構築に寄与していく。

【指標・評価方法】

- ① 下記の7つの業務を円滑に行い、地域包括支援センターロータス音更が地域の総合相談の拠点として機能していく。
 - 1) 介護予防ケアマネジメント業務
 - 2) 総合相談支援業務
 - 3) 権利擁護業務
 - 4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
 - 5) 認知症施策の推進業務
 - 6) 在宅医療・介護連携の推進業務
 - 7) 地域ケア会議開催業務
- ② 認知症に関連する相談に於いて、ご家族と相談の上で必要と判断した場合には、認知機能チェックや認知症スクリーニング検査を実施する。把握した認知能力の状態を専門医等へ情報提供し、医療介護の連携を強化する。
- ③ 地域住民の皆様との心身の健康保持などの公衆衛生を目的に、圏域内でみんなの笑顔(健康イベント)を年2回開催する。
- ④ 独自の実態把握調査を継続し、調査で得た生活課題については、早期に介入する。また民生委員意見交換会などで抽出された地域課題については、各関係機関と情報を共有し対応を協議する。

あんじゅ音更指定居宅介護支援事業所

利用者様、ご家族が望む生活を実現するため、心身の状況や病状の理解、利用者様に影響を与えるその他の因子などを把握し、保健・医療・福祉サービス事業所とその情報を共有し、連携することで、利用者様の現在の能力に適したサービスが行われるようなケアマネジメント業務を行います。

《重点推進課題》

ICT 活用と組織的支援体制の強化により、利用者数の維持と質の高いケアマネジメントを両立する。

《中期経営計画 (1)(2)(4)(5)》

利用者様およびご家族が望む生活を継続できるよう、心身の状況や生活環境を的確に把握し、関係機関と連携しながら適切なケアマネジメントを行う。

あわせて、ケアプランデータ連携システムの導入・活用や事業所内での情報共有を通じて業務の効率化と支援体制の強化を図り、利用者数の維持を含めた安定した事業所運営を目指す。

【指標・評価方法】

- ① ケアプランデータ連携システムについて、事業所内研修等を通じて仕組みや操作方法の理解を深め、職員が統一した運用のもとで使用できる体制を整える。
また、システム導入に伴う業務フローを見直し、書類作成や情報共有の効率化を図る。
- ② 利用者一人ひとりの状況変化に応じた適切なケアマネジメントを継続し、利用者様・ご家族との信頼関係の維持に努める。
入退院や状態変化時には関係機関と連携し、円滑なサービス調整を行うことで、利用中断の防止および利用者数の維持につなげる。
- ③ 週1回のケース報告会において、利用者支援における課題や困難事例を共有し、多角的な視点から検討を行う。
事業所としての支援方針や対応の方向性を明確にすることで、職員個人に負担が集中しない体制を整え、組織的なケアマネジメントの質の向上を図る。

老 健 音 更

職員内部研修計画

(あんじゅ音更 入所・短期・通所)

実 施 月	研 修 内 容	講 師 等
4月	身体拘束廃止・虐待の防止について	身体拘束廃止 / 虐待防止委員会
5月	ハラスメント研修	施設内外の講師
6月	防災について(災害)(研修+訓練)	防災委員会
7月	感染予防について(研修+訓練)	感染対策委員会
8月	医療事故防止について	医療事故防止委員会
9月	口腔衛生管理について	口腔ケア委員会
10月	褥瘡予防について	褥瘡予防委員会
11月	防災について(感染)(研修+訓練)/感染予防について(研修+訓練)	防災委員会 / 感染委員会
12月	コンプライアンス研修	施設内外の講師
1月	身体拘束廃止・虐待の防止について	身体拘束廃止 / 虐待防止委員会
2月	医療事故防止について	医療事故防止委員会
3月	口腔衛生管理について	口腔ケア委員会

介 護 老 人 保 健 施 設 あ ん じ ゅ 音 更
あ ん じ ゅ 音 更 (介 護 予 防) 通 所 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 事 業 所
あ ん じ ゅ 音 更 (介 護 予 防) 訪 問 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 事 業 所

介護老人保健施設 あんじゅ音更

利用者様が、住み慣れた環境(地域)において、笑顔で自立した生活を送ることができるよう、個々に合わせたリハビリやレクリエーション、軽作業、季節ごとの行事などの活動を提供し、生活機能の維持・向上を図り、老人保健施設の役割である在宅復帰・在宅療養支援の機能を果たしていく。

《重点推進課題》

1. 老健施設の役割を踏まえた支援内容の充実と多職種連携の深化

《中期経営計画 (1)(2)》

前年度、入所者様のできることを増やすために「ミニカンファレンス」の推進を掲げたが、ADL 低下時の事後対応に留まる事が多かったものの、少しずつ意識をして開催するよう変化が見られている。改めて、「形式にとらわれない、気づいたその場での柔軟な連携」がミニカンファレンスの本質であると再定義し、この動きを加速させる。また、日中の活動や行事においても、漫然とした実施を見直し、リハビリテーションの視点を持った活動へと再構築することで、入所者様の機能の維持・向上を図る。

【指標・評価方法】

- ① ミニカンファレンスの概念を再定義し、協議の際は、形式的な開催に拘らず、課題に応じて必要な職種を選定し、「できている事に対し、可能な限り続けられるための視点」「できそうなことに対し、できるようになるための視点」「できない事に対し、できそうなことやできる事につなげられる視点」を持って支援内容の検討を行う。
- ② 行事や日中活動の目的(身体機能、認知機能等)を明確化し、各フロアや利用者様の特性に合わせた「生活リハビリとしての行事」をリハビリ職員含め検討し実施する。

2. 業務標準化と生産性の改善による質の向上

《中期経営計画 (4)》

長年行ってきた業務内容や委員会活動のマニュアルを見直し、再整備することで新しい職員が入職しても一定のサービス水準を維持できる体制を整える。

【指標・評価方法】

- ① 業務・委員会マニュアルの点検と改訂を行う。現状の業務実態と乖離している手順を修正し、誰もが同一の基準で判断・遂行ができるよう整備する。
- ② 「居室担当業務」のマニュアルを新規作成・整備し、職員による質のバラつきをなくす。
- ③ 各委員会の目的、役割、活動内容を再確認する機会を作り運用する。

各種会議・委員会

	名 称	開 催 日
会 議	職員会議	年2回(5月・11月)
	幹部会議	毎月第2木曜日 15:00～
	入所判定会議	随時
	ケアカンファレンス	随時
	看護師会議	毎月第3水曜日
	フロア会議	2F: 毎月第3火曜日 3F: 毎月第2金曜日
	教育・SNS委員会	第4火曜日
	生産性向上委員会	第1金曜日
	リハビリ会議	月1回不定期
	施設内研修	毎月1回不定期
委員会	医療事故防止委員会	定期開催: 4・7・10・1月 ※必要時は随時開催。
	身体拘束廃止委員会	定期開催: 4・7・10・1月 ※必要時は随時開催。
	感染対策委員会	定期開催: 4・7・10・1月 ※必要時は随時開催。
	高齢者虐待防止委員会	定期開催: 4・7・10・1月 ※必要時は随時開催。
	褥瘡予防委員会	定期開催: 5・8・11・2月 ※必要時は随時開催。
	防災(業務継続)委員会	定期開催: 5・8・11・2月 ※必要時は随時開催。
	給食委員会	毎月第4木曜日
	口腔ケア委員会	毎月第4木曜日
衛生委員会	毎月第4火曜日	

年間行事予定

月	実施日	行 事	内 容
4月		食事行事	入所者の声を反映した食事提供を行う。
5月		開設記念日	開設22周年
6月		初夏まつり	合同、または各フロアにて夏まつりを行う。
8月		夏レク	夏らしいレクリエーションを行い季節感を感じていただく。
9月		敬老の日	入所者の長寿を祝う。
11月		食事行事	入所者の声を反映した食事提供を行う。
12月		クリスマス忘年会	食事を囲み、クリスマスの雰囲気を楽しむ。
	31日	年越し	神飾りや鏡餅を飾り、新年を迎える。
1月	1日～2日	正月	おせち料理で新年を祝う。
	中旬	季節の行事	季節にちなんだ調理レクを行い楽しむ。
2月		節分	干支歳の入所者による豆まき等。
	下旬	鍋行事	昼食に鍋を囲んで、食事を楽しむ。
3月		季節の行事	入所者と一緒に調理レクを楽しむ。

※「日曜喫茶」各階にて毎週日曜日に実施

※「避難訓練」年2回実施

年間行事予算

(単位:円)

月	行事名	実施日	実施内容	費用内訳	給食費	教養娯楽費	合計予算金額
4月	食事行事		入所者の声を反映した食事提供を行う。 スイーツコレクション	入所者食事代 600 × 100 人 入所者おやつ代 30 × 100 人	60,000 3,000		63,000
5月	開設22周年		開設記念日に合わせ食事会 スイーツコレクション	入所者食事代 800 × 100 入所者おやつ代 30 × 100 人	80,000 3,000		83,000
6月	夏まつり		夏らしい行事の実施。 スイーツコレクション	入所者食事代 800 × 100 人 ジュース代 200 × 100 人 各階飾りつけ代 入所者おやつ代 30 × 100 人	80,000 20,000 10,000 3,000		113,000
7月			スイーツコレクション	入所者おやつ代 30 × 100 人	3,000		3,000
8月	夏レク		夏らしいレクリエーションの実施。 スイーツコレクション	装飾等備品代 20,000 入所者おやつ代 30 × 100 人	3,000	20,000	23,000
9月	敬老の日		入所者の長寿を祝う。 スイーツコレクション	入所者食事代 800 × 100 人 入所者お茶菓子飲み物代 350 × 100 人 装飾備品代 10,000 入所者おやつ代 30 × 100 人	80,000 35,000 3,000	10,000	128,000
10月			スイーツコレクション	入所者おやつ代 30 × 100 人	3,000		3,000
11月	食事行事		入所者の声を反映した食事提供を行う。 スイーツコレクション	入所者食事代 600 × 100 人 入所者おやつ代 30 × 100 人	60,000 3,000		63,000
12月	クリスマス忘年会 行事食 年越し	31日	フロア毎で企画を立て、入所者・職員の 親睦を図る。 クリスマス昼食 神飾りや鏡餅を飾り、新年を迎える。 スイーツコレクション	入所者食事代 500 × 100 人 装飾等備品代 10,000 入所者食事代 300 × 100 人 飲物・菓子・装飾等代 20,000 入所者おやつ代 30 × 100 人	50,000 30,000 3,000	10,000 20,000	113,000
1月	正月 季節の行事	1日 中旬	おせち料理で新年を祝う。 季節にちなんだ調理レク スイーツコレクション	おせち料理 1,600 × 100 人 6,000 入所者おやつ代 30 × 100 人	160,000 6,000 3,000		169,000
2月	節分 昼食行事	3日 中旬	干支歳の入所者による豆まき等。 季節を感じ、鍋を囲んで交流を図る。 スイーツコレクション	豆・備品代 10,000 入所者食事・飲物代 300 × 100 人 入所者おやつ代 30 × 100 人	30,000 3,000	10,000	43,000
3月	季節の行事		季節にちなんだ調理レク スイーツコレクション	6,000 入所者おやつ代 30 × 100 人	6,000 3,000		9,000
通年	変わり湯 喫茶 レク用品 園芸用品 食事予備費 予備費	適宜 日曜	入浴剤を使用し、入浴を楽しんで頂く フロアにおける活動費 花壇等の環境整備	12,000 実費 レク用品代 10,000 × 2 × 12 ヶ月 園芸用品代 50,000 25,000 100,000		12,000 240,000 50,000 25,000 100,000	427,000
合 計					743,000	497,000	1,240,000

あんじゅ音更(介護予防)通所リハビリテーション事業所

自立支援を主軸とし、心身機能の維持回復を図る通所リハビリテーションの役割を踏まえ、現在提供しているリハビリテーションの適正評価を行いながら、住み慣れた地域や自宅で継続した生活が送れるよう支援を行っていく。

又、生活機能向上の視点を持ち、通所内での役割を持つことで、精神面も含めた自立を目指していく。

《重点推進課題》

1. リハビリテーション評価システムの運用促進 《中期経営計画（2）》

3か月毎に1回、リハビリテーション職員・介護職員・支援相談員等でミニカンファレンスを開催しリハビリテーション評価を行っている。このリハビリテーション評価システムを運用促進することで、定期的且つ多角的にリハビリテーション内容を評価し、利用者様の身体機能や生活ニーズに合わせた適切なリハビリテーションが提供できる体制を構築する。

【指標・評価方法】

- ① 評価システムを用いて、3か月毎に1回、現状のリハビリ内容の整合性を評価するためのミニカンファレンスを開催し、評価内容を記録する。
- ② 「リハ補助」に登録されている利用者様の人数が多くなっているため、利用者様への適切な移行評価の説明を行いつつ、「自主訓練」へ移行する人数をさらに増やし、自主的なリハビリテーション実施へと繋げていく。

2. 生活機能向上に向けたアプローチの実現 《中期経営計画（1）》

加齢や疾病に伴い、自宅内での役割が減少してしまう傾向にある利用者様において、通所利用を通じて通所内での役割を確保することで、精神面も含めた自立を働きかける。

【指標・評価方法】

- ① タオルたたみやテーブル拭きなどの家事作業を各利用者様に割り当て、役割の安定確保を目指す。
- ② 「生活に結び付いた運動メニュー」を考案し、毎月のデイケア会議内にて評価及び検討を行う。

年 間 会 議 予 定

	会議予定(開催日)	対象職員
会議	デイケア会議(第2木曜日)	デイケア職員
	リハビリカンファレンス(随時)	デイケア職員
	サービス担当者会議(随時)	支援相談員・正職員
	施設内研修(毎月1～15日:動画研修)	デイケア職員
	幹部会議(第2木曜日)	相談員・通所主任
委員会	感染予防委員会(定期開催:4・7・10・1月)	担当職員
	医療事故防止委員会(定期開催:4・7・10・1月)	担当職員
	虐待防止委員会(定期開催:4・7・10・1月)	担当職員
	生産性向上委員会(第1金曜日)	担当職員
	教育/SNS委員会(第4火曜日)	担当職員

年 間 行 事 予 算

(単位:円)

月	行事名	内 容	費 用 内 訳	給 食 費	教養娯楽費	合計予算金額
5月	園芸活動 開設22周年事(1日間限定)	苗植え (きゅうり、ミニトマトなど) 開設記念日に合わせ食事会	肥料 4,000 × 1 苗 4,000	20,000	4,000 4,000	28,000
6月	運動会				20,000	20,000
7月	夏祭り行事(1週間)	スタッフ,利用者全員で夏の風物詩を堪能	飾り付け代	20,000	10,000	30,000
9月	敬老週間	敬老を祝う	各種表彰 14人 (2026.2.16現在) 喜寿(昭和25年) 2人 米寿(昭和14年) 3人 白寿(昭和3年) 0人 高齢者(昭和2年以前) 1人 飾り付け代 敬老昼食代	20,000	10,000	30,000
10月	外出行事	利用者、スタッフと共に外出し外食を楽しむ	付き添い者食事補助 20,000 (17日×3名×280円)	20,000		15,000 50,000
11月	食事行事(1日間限定)	スタッフ,利用者全員で調理し生活リハを提供		20,000		20,000
12月	Xmas&忘年会 変わり湯(1日間限定)	 雰囲気の違いお風呂を提供する(ゆず湯)	ケーキ代 200 × 180人 プレゼント 500 × 100人 飾り付け 20,000 8,000	36,000	50,000 20,000 8,000	114,000
1月	食事行事(1日間限定)	スタッフ,利用者で調理し生活リハを提供		20,000		20,000
3月	食事行事(1日間限定)	スタッフ,利用者全員で調理し生活リハを提供		20,000		20,000
通年	物品購入費及びレクリエーション制作材料費 スイーツコレクション代(月1回)(30人×30円=900円) 本代(オレンジページ)(月2回) 本代(趣味の園芸)(月1回) 本代(趣味の園芸/やさいの時間)(2ヶ月に1回) 本代(レクリエ)(2ヶ月に1回) 本代(女性自身)(毎週) 本代(月間デイ)(毎月)		10,000 × 12ヶ月 900 × 12ヶ月		120,000 10,800 14,000 8,400 5,478 14,980 21,600 26,620	221,878
予備	予備費				6,000	6,000
合 計				176,000	353,878	529,878

あんじゅ音更(介護予防)訪問リハビリテーション事業所

利用者様が、住み慣れた家と地域で、自分らしい生活を送ることができるようリハビリテーションを行い、利用者様、ご家族様が笑顔で在宅生活を続ける事ができるよう支援する。

《重点推進課題》

1. 継続した在宅生活への支援

《中期経営計画(1)(2)》

住み慣れた環境でリハビリテーションを行うことは精神的に安心でき、より実践的な生活機能の向上に繋がる。利用者様の心身機能や目標に合わせたリハビリテーションプログラムを作成し、心身機能・日常生活動作の維持向上を図れるよう支援する。また、個々に合わせた自主訓練メニューの作成や、他サービスを利用している方については、その事業所と連携を取り運動の機会を増やすことで、運動量の確保ができるよう支援する。

【指標・評価方法】

- ① 医師の診察・指示のもと、利用者様個々の状態に合わせたリハビリテーションプログラムを作成・実施し、心身機能・日常生活動作の維持・向上を図る。また利用者様やご家族の在宅生活を営む上での希望と、家屋環境を踏まえたリハビリテーションプログラムを作成し、実際の生活に即した訓練を提供する。
- ② 自主訓練メニューの提供とそのメニューを継続して行って頂けるように支援することや、他サービスを併せて利用している方については、その事業所との連携を図り、訪問リハビリテーション以外の時間にも運動を行う時間を持っていただくことで運動量の確保ができることで心身機能の維持向上を図っていく。
- ③ 3か月ごとにリハビリテーション会議を開催し、利用者様とご家族、医師、担当リハビリ職員などでリハビリテーションの進捗状況の確認や今後の方針について情報共有を行う。また訪問リハビリテーションから他の居宅系サービスへの移行など現状に適したサービスへの切り替えも検討する。必要に応じて関係機関へ会議の内容を伝達し、情報共有を図る。